

目 次

1. 基本計画の構成

2. 財政シミュレーション

1. 人

1-1. 健康のまちづくりを推進します

健康づくりの推進

予防医療と地域医療の充実

1-2. 生涯学習によって自己実現できるまちをつくります

学びの機会の提供と支援

生涯学習基盤の充実

1-3. 文化とスポーツが盛んなまちをつくります

文化・芸術の振興

スポーツの振興

1-4. 交流を深め人と人が結びつくまちをつくります

交流と定住の促進

男女共同参画社会の実現

2. 支えあい

2-1. 自然と共生した環境にやさしいまちをつくります

自然環境の保全

生活環境・水環境の保全

2-2. 地域で支えあって安心して生活できるまちをつくります

障がい者の支援体制の充実

みんなで支えあう地域福祉

2-3. 高齢者が元気に安心して暮らせるまちをつくります

高齢者の支援体制の充実

高齢者の生きがいづくり

3. 子ども

3-1. 子どもを安心して産み育てることができるまちをつくります

子育て支援の充実

幼稚園・保育園の充実

3-2. 教育環境が整備されたまちで次の時代を担う人を育てます

魅力ある教育の推進

教育環境・教育施設の充実

地域教育の推進

4. 仕事

4-1. 産業の振興によって働く場があるまちをつくります

企業誘致の推進と働く場の確保

地場産業の育成

4-2. 農業が元気なまちをつくります

農業の担い手の育成

農業生産基盤の充実

農山村環境の整備推進

5. 暮らし

5-1. 安全で安心なまちをつくります

安全に暮らせる地域づくり

居住環境の整備推進

5-2. 都市計画マスタープランに基づいた街づくりを推進します

景観・公園づくり

幹線道路の整備

生活道路・農道の整備

6. 人口減少対策

6-1. 将来に希望を持てるまちづくりを推進します

人口減少対策プロジェクトの推進

7. 計画実現のために

7-1. 協働のまちづくりを推進します

地域コミュニティの推進

情報発信の強化

7-2. まちづくり総合計画に基づいた行政運営を行います

行財政改革と行政運営

行政サービスの向上

1.基本計画の構成

下記概念図は基本計画の体系を図示したものです。基本計画では16の政策34の施策を173の事務事業を7つの分野に分類し、整理しました。また、将来像の実現のために重点プロジェクトを定め、計画期間の4年間に重点的に事業を実施していきます。

基本構想

未来を拓く日本三大開拓地 さわやかな田園のまち・やぶき

まちづくりの理念

- 自助・共助・公助の考え方
- 協働のまちづくり
- いにしえから学ぶ、まちづくりのリーダー
- 情報共有・情報発信のまちづくり
- 行政運営の考え方

基本姿勢

人材を
育てる

矢吹を
好きになる

風景を
残し守る

基本計画

重点プロジェクト



34の
施策
16の
政策

7分野
に分類

人

子ども

暮らし

計画実現
のために

支えあい

仕事

人口減少
対策

173の事務事業

実施計画

- ・優先度、重要度、財政状況を勘案し、事業案、財源を定める4年間の計画
- ・行政評価により毎年度見直しを行い、実施計画を基に毎年度予算編成

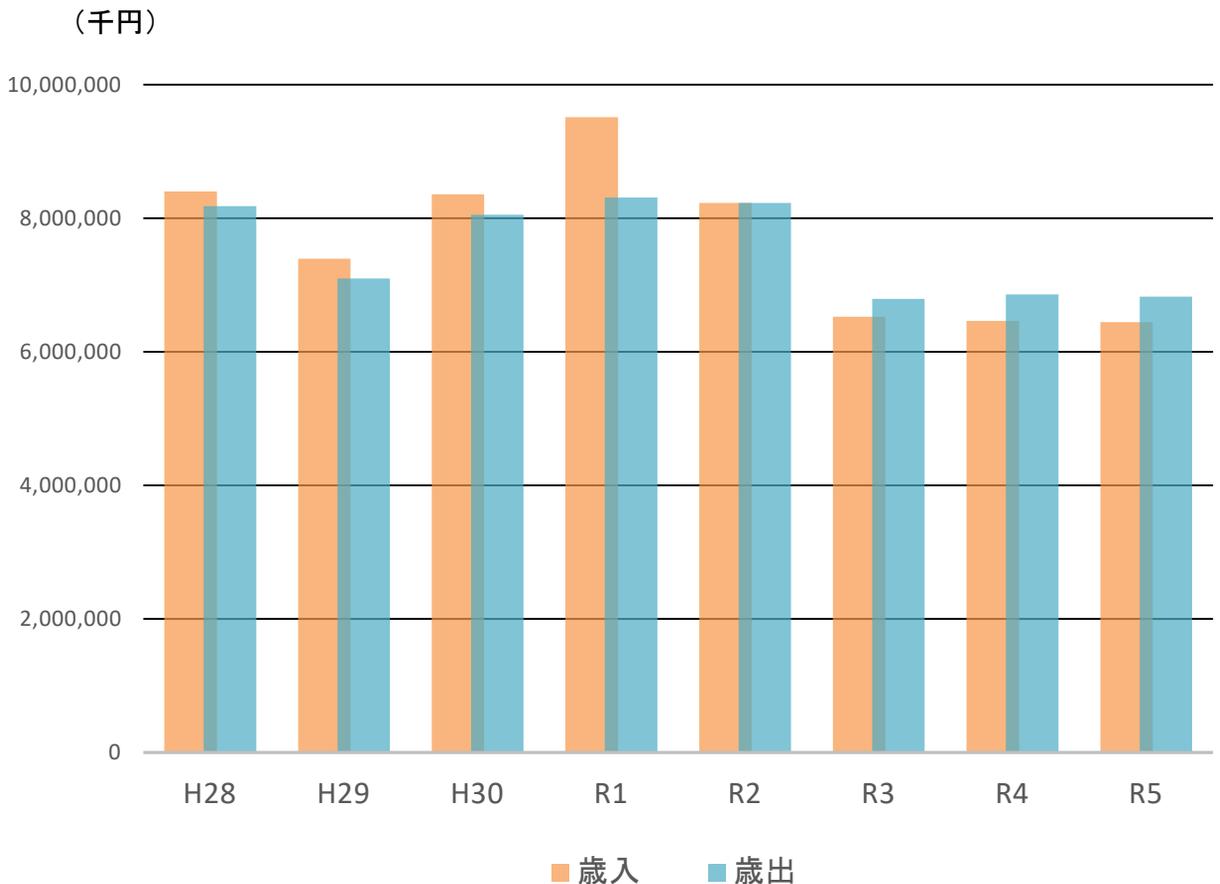
2.財政シミュレーション

後期基本計画については、財政状況に基づいた事務事業の実施や復興関連事業の実施を踏まえ、現時点で把握できる数値を基に、重点プロジェクトを想定したうえで財政シミュレーションを行いました。
 なお、予算額は令和3年度以降は、概ね70億円程度で推移される見込みです。（繰越事業は含まない。）

【ポイント】

①令和3年度以降は剰余金見込額及び基金の取り崩しを除外し、実質的な収支差引額を表しています。そのため各年度において財源不足が生じる見込みですが、第6次矢吹町行財政改革大綱等に定める取り組みに加え、前年度繰越金及び財政調整基金等の活用により収支のバランスを図ります。

②矢吹駅周辺地区都市再生整備計画事業（複合施設建設等）や道路側溝堆積物撤去処理事業等、大規模事業の完了に伴い、令和3年度以降は歳出規模が大幅に減少する見込みです。



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
歳入	8,398,888	7,393,684	8,358,530	9,514,087	8,230,000	6,524,000	6,461,000	6,444,000
歳出	8,179,291	7,097,740	8,048,909	8,310,254	8,230,000	6,791,000	6,857,000	6,822,000
収支	219,597	295,944	309,621	1,203,833	0	▲ 267,000	▲ 396,000	▲ 378,000

※ 令和元年度までは決算額、令和2年度以降は見込額でシミュレーションしている。

人

- 健康のまちづくりを推進します
- 生涯学習によって自己実現できるまちをつくります
- 文化とスポーツが盛んなまちをつくります
- 交流を深め人と人が結びつくまちをつくります

健康づくりの推進
予防医療と地域医療の充実

学びの機会の提供と支援
生涯学習基盤の充実

文化・芸術の振興
スポーツの振興

交流と定住の促進
男女共同参画社会の実現

支えあい

- 自然と共生した環境にやさしいまちをつくります
- 地域で支えあって安心して生活できるまちをつくります
- 高齢者が元気に安心して暮らせるまちをつくります

自然環境の保全
生活環境・水環境の保全

障がい者支援体制の充実
みんなで支えあう地域福祉

高齢者の支援体制の充実
高齢者の生きがいづくり

子ども

- 子どもを安心して産み育てることができるまちをつくります
- 教育環境が整備されたまちで次の時代を担う人を育てます

子育て支援の充実
幼稚園・保育園の充実

魅力ある教育の推進
教育環境・教育施設の充実
地域教育の推進

仕事

- 産業の振興によって働く場があるまちをつくります
- 農業が元気なまちをつくります

企業誘致の推進と働く場の確保
地場産業の育成

農業の担い手の育成
農業生産基盤の充実
農山村環境の整備推進

くらし

- 安全で安心なまちをつくります
- 都市計画マスタープランに基づいた街づくりを推進します

安全に暮らせる地域づくり
居住環境の整備推進

景観・公園づくり
幹線道路の推進
生活道路・農道の整備

人口減少
対策

- 将来に希望を持てるまちづくりを推進します

人口減少対策プロジェクトの推進

計画実現
のために

- 協働のまちづくりを推進します
- まちづくり総合計画に基づいた行政運営を行います

地域コミュニティの推進
情報発信の強化

行財政改革と行政運営
行政サービスの向上

未来を拓く日本三大開拓地
さわやかな田園のまち・やぶさき

重点プロジェクト

公共交通推進事業



高齢者が地域の中で安心して元気に生活できるよう、
高齢者の交通手段の確保に取り組みます

企業誘致促進事業

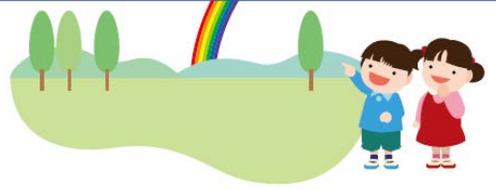


企業誘致により雇用の確保を図り、財政基盤の強化に
取り組みます

待機児童解消加速化事業



官民連携により待機児童の解消に取り組み、子育てし
やすい町、選ばれる町を目指します



デジタル田園タウン構想事業



都市部と同様の利便性や魅力を備え、地域の豊かさを活
かし、幸せに暮らせる新たな社会への転換を目指します

学校給食運営事業



保護者の負担軽減を図り、未来を担う子ども達を支援す
ることで、安心して子育てできる町づくりを目指します



ページの見方

現状

この政策における社会的状況や本町における現状を施策ごとに記述しています。

関連データ

この政策に関連するデータ(実績値)や資料を掲載しています。

課題

この政策について、取り組むべき課題を施策ごとに記述しています。

こんな町いいな

この政策に関連する「こんな町いいな」めざそう値の項目を掲載しています。

※「こんな町いいな」めざそう値とは、日常のまちづくりに関する要素を指標化したものです。

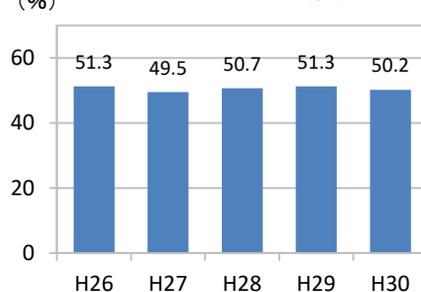
人

1-1 健康のまちづくりを推進します

現状

- 1 特定健診の受診結果によると、年度によってばらつきがありますが、内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)や糖尿病、脂質異常症、高血圧症を含む重症化予防対象者数は減少傾向にあります。
- 2 特定健診の受診率は横ばいで推移し、ここ5年間の受診率は50%前後ですが、特定保健指導の実施状況については増加傾向が見られます。

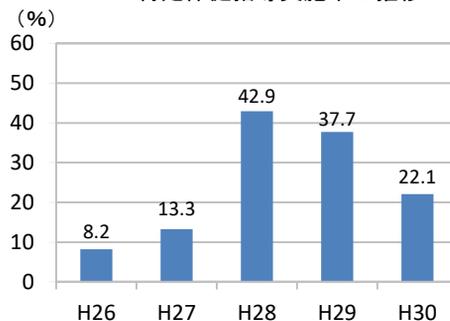
特定健診受診率の推移



課題

- 1 総人口や特定健診の受診率が減少しているため、重症化予防対象者数が減少したからといって施策の効果が表れたとは言えません。重症化リスクの高い該当者は、将来脳梗塞や心筋梗塞等の重篤な疾患を発症する可能性が高く、医療費の高額化や死亡率の上昇等の危険性があります。
- 2 特定健診の受診率の内訳については、若い世代と男性の受診率が低く、町民の健康を維持するためには、予防医療につながる特定健診をはじめとする各種検診の受診率のさらなる向上と、受診後の支援が課題となります。

特定保健指導実施率の推移



こんな町いいな

心身ともに元気で暮らせる

- 年に1度健康診断を受けていますか？
- 自分が心身ともに元気と感じていますか？

健康づくりのために何か取り組んでいる

- 健康づくりのために何かしていますか？
- 普段から運動をしていますか？

近くに安心できる病院や医院がある

- 地域の医療に安心感を持っていますか？
- いざという時に相談できるかかりつけ医がいますか？

施策の体系

政策に基づく施策とその方針、これを達成するための具体的な事務事業を体系的に表しています。

取り組み ます

1. 健康づくりの推進

町民が健康で過ごせるよう、地域全体で健康の保持増進と、生活習慣病の発症及び重症化予防を引き続き推進していきます。

ヘルスステーション運営事業

献血事業

保健福祉センター管理運営事業

福祉会館管理運営事業

健康センター管理運営事業

2. 予防医療と地域医療の充実

健康でいることは、生活する上での基本であり、町民の健康を維持するための事業、充実した地域医療体制の確保などに引き続き取り組みます。

放射線の影響による不安の解消については、規模は縮小しながらも継続して実施します。

特定健診・特定保健指導事業

町民検診事業

予防接種事業

小中学校健康診断事業

子ども・妊婦線量計等支援事業

地域救急医療体制整備事業

みんなの声

医療が充実した町がいいな。

健康を保って、医療に頼らない社会を推進したいね。



地元到医院があると安心できるね。

みんなの声

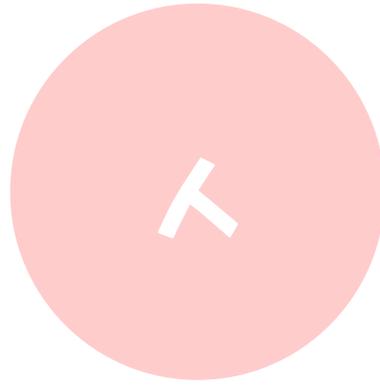
アンケートやワークショップ等で行った政策・施策に関連する住民の声を抜粋し掲載しました。

施策の目標

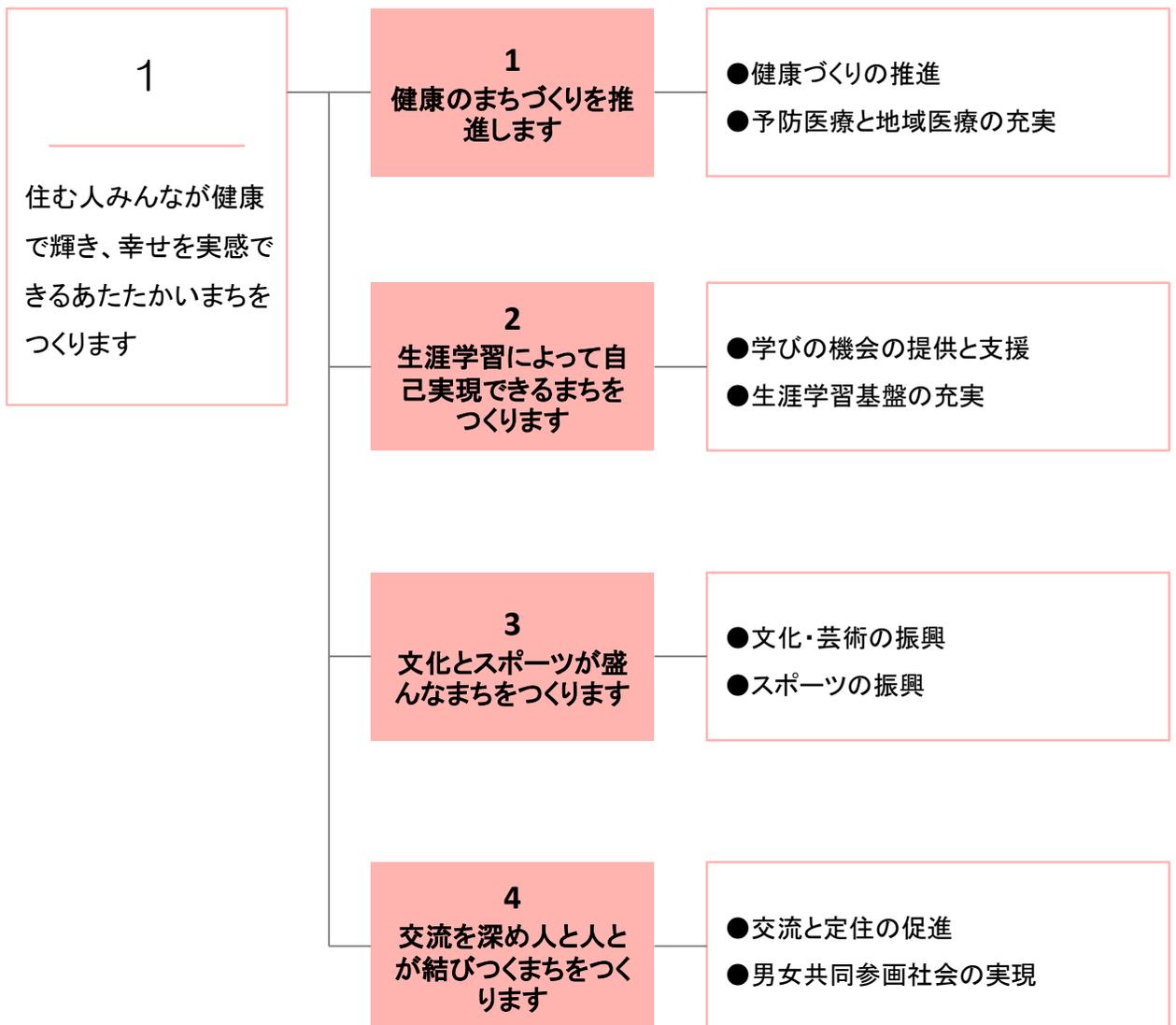
指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
特定健診受診率	50.2%	52.0%	60.0%
特定健診結果重症化リスクの高い該当者数	501人	500人	470人
かかりつけ医がいる人の割合	62.5%	63.0%	68.0%

施策の目標

施策の成果を示す指標として、代表的な取り組みに関する現状値と目標値を表しています。



住む人みんなが健康で輝き、幸せを実感できるあたたかいまちをつくれます





あゆり祭

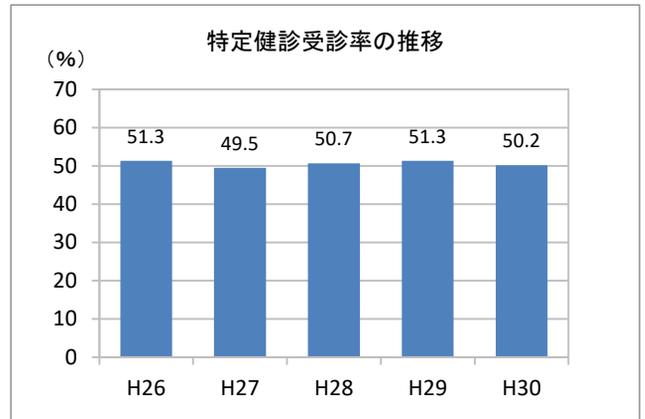
第32回中畑清旗争奪ソフトボール大会



三鷹市・矢吹町姉妹市町子ども交流事業
チャレンジ体験キャンプ

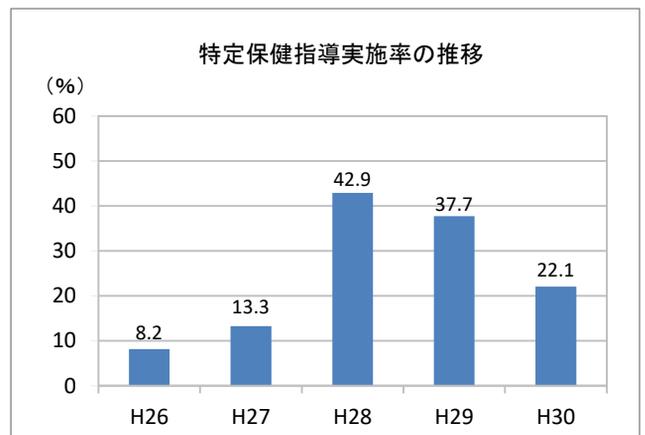
現状

- 1 特定健診の受診結果によると、年度によってばらつきがありますが、内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）や糖尿病、脂質異常症、高血圧症を含む重症化予防対象者数は減少傾向にあります。
- 2 特定健診の受診率は横ばいで推移し、ここ5年間の受診率は50%前後ですが、特定保健指導の実施状況については増加傾向が見られます。



課題

- 1 総人口や特定健診の受診率が減少しているため、重症化予防対象者数が減少したからといって施策の効果が表れたとは言い切れません。
重症化リスクの高い該当者は、将来脳梗塞や心筋梗塞等の重篤な疾患を発症する可能性が高く、医療費の高額化や死亡率の上昇等の危険性があります。
- 2 特定健診の受診率の内訳については、若い世代と男性の受診率が低く、町民の健康を維持するためには、予防医療につながる特定健診をはじめとする各種検診の受診率のさらなる向上と、受診後の支援が課題となります。

こんな町
いいな

心身ともに元気で暮らせる

- 年に1度健康診断を受けていますか？
- 自分が心身ともに元気と感じていますか？

健康づくりのために何か取り組んでいる

- 健康づくりのために何かしていますか？
- 普段から運動をしていますか？

近くに安心できる病院や医院がある

- 地域の医療に安心感を持っていますか？
- いざという時に相談できるかかりつけ医がいますか？

1. 健康づくりの推進

町民が健康で過ごせるよう、地域全体で健康の保持増進と、生活習慣病の発症及び重症化予防を引き続き推進していきます。

ヘルステーション運営事業

献血事業

保健福祉センター管理運営事業

福祉会館管理運営事業

健康センター管理運営事業

2. 予防医療と地域医療の充実

健康であることは、生活する上での基本であり、町民の健康を維持するための事業、充実した地域医療体制の確保などに引き続き取り組みます。

放射線の影響による不安の解消については、規模は縮小しながらも継続して実施します。

特定健診・特定保健指導事業

町民検診事業

予防接種事業

小中学校健康診断事業

子ども・妊婦線量計等支援事業

地域救急医療体制整備事業

みんなの声

医療が充実した町がいいな。

健康を保って、医療に頼らない社会を推進したいね。



地元到医院があると安心できるね。

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
特定健診受診率	50.2%	52.0%	60.0%
特定健診結果重症化リスクの高い該当者数	501人	500人	470人
かかりつけ医がいる人の割合	62.5%	63.0%	68.0%

1-2 生涯学習によって自己実現できるまちをつくります

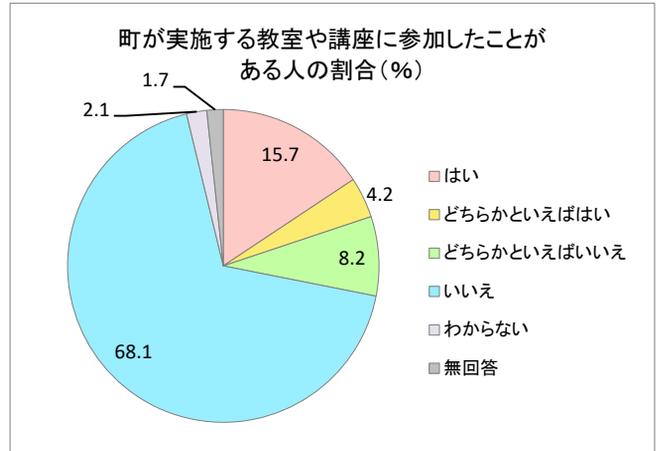
現状

1 町民講座の受講者数は年々増加傾向にあり、前期基本計画の目標である105人を大きく超えています。

町に人々が集まり活動できる場所があると思う人の割合についても前回調査時より増加し、前期基本計画の目標に設定した43.0%を達成しています。

2 公民館や図書館等の社会教育施設は、町民に生涯学習の機会や場を提供する拠点として、また、身近な地域の交流の場として重要な役割を担っています。

前期基本計画の重点プロジェクトの一つとして位置づけた矢吹町複合施設は令和2年度内に供用開始し、現在の図書館と中央公民館は矢吹町複合施設内に移ることとなります。



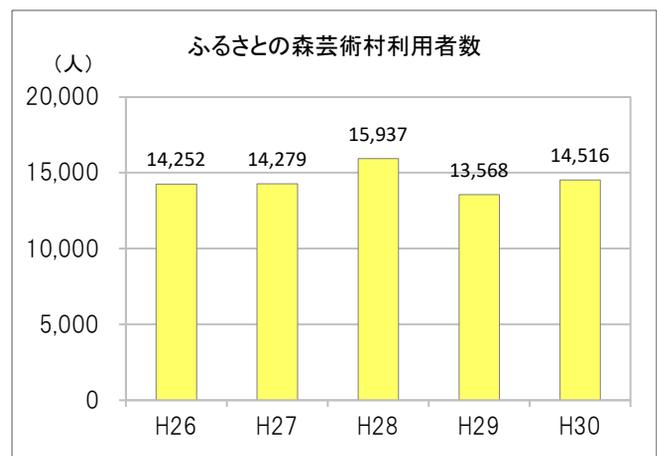
課題

1 町民講座の受講者数が増加傾向にある一方、町が実施する教室や講座に参加したことがある人の割合は前回調査時よりも減少しています。

受講者の割合については、高齢の方が比較的多く若い世代が少ないため、若い世代をどのように取り込むかが課題となります。

2 矢吹町複合施設内については、町民・各団体からの様々な意見、要望を反映して整備を進めており、供用開始後も充実したサービスを安定的に提供しなければなりません。

その他の社会教育施設については、利用者の高齢化や施設の老朽化が進んでいます。

こんな町
いいな

自ら学んだり、取り組める環境がある

町が実施する教室や講座に参加したことがありますか？

自分を磨くために学ぶ機会をつくりたいと考えていますか？

人々が集まり活動できる場所がある

町内に人々が集まり活動できる場所はあると思いますか？

生きがいをもって生活している

生きがいをもって生活していますか？

1. 学びの機会の提供と支援

町が実施する教室や講座に参加したことがある方は、高齢の方の割合が比較的多く、幅広い世代の方が受講したいと思える講座や、参加しやすい時間帯での開催等を検討し、生涯学習に対するニーズに対応する必要があります。

生涯学習情報提供事業

町民講座開設事業

地区公民館管理運営事業

2. 生涯学習基盤の充実

矢吹町複合施設は生涯学習の拠点だけでなく、町の中心市街地の賑わい創出にもつながるため、「集い・学び・遊び・育む フロンティア広場」として利用者のニーズに柔軟に対応できる管理運営が求められています。

その他の社会教育施設の管理運営にあたっては、社会の変化に対応した取り組みが求められています。

図書館管理運営事業

文化センター管理運営事業

ふるさとの森管理運営事業

複合施設管理運営事業

みんなの声

世代を問わず交流できる「教室」や「クラブ活動」があると良いね。

イベント等に参加したいけど、会社勤めだと日中は難しい・・・

昔からの文化を学ぶ機会がほしいな。



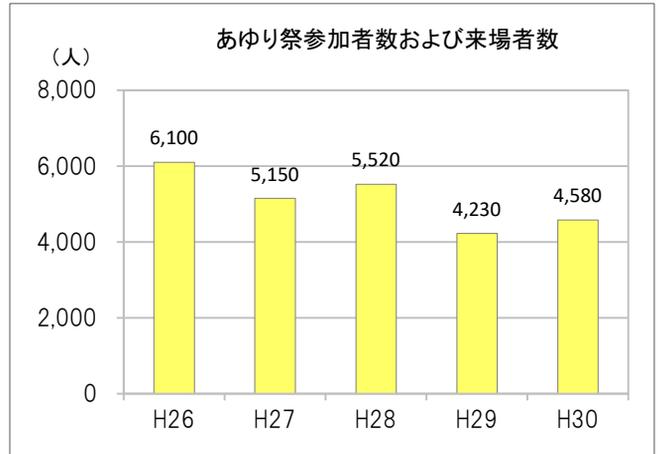
施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
町民講座の受講者数	152人	105人	170人
人々が集まり活動できる場所があると思う人の割合	43.8%	43.0%	50.0%
自分を磨くために学ぶ機会をつくりたいと考えている人の割合	57.3%	47.0%	75.0%

1-3 文化とスポーツが盛んなまちをつくれます

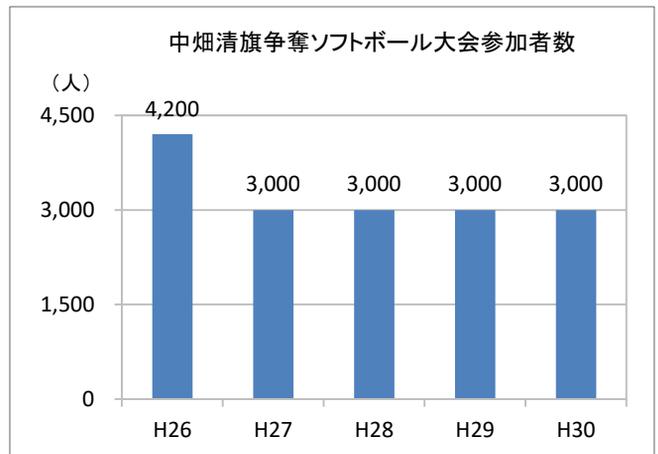
現状

- 1 あゆり祭の参加者は減少傾向であり、ふるさとの森芸術村への来館者数は年度毎にばらつきが見られます。
歴史民俗資料については、デジタル化により時間や場所にとらわれず鑑賞できるよう準備を進めています。
- 2 本町出身の中畑清氏にまつわる「中畑清旗争奪ソフトボール大会」や「さわやか健康マラソン大会」は町内の二大スポーツイベントです。
さわやか健康マラソン大会は町内外からの参加者が増加しており、中畑清旗争奪ソフトボール大会は参加者が横ばいですが、町内外から多くの方が訪れています。



課題

- 1 あゆり祭等の文化・芸術に関する活動では高齢者の参加割合が高いが、高齢者数が増加している一方で参加者の減少が見られます。
- 2 少子高齢化や人口減少に伴い、スポーツ少年団の団員数や、町の体育施設の利用者数は減少傾向にあります。

こんな町
いいな

文化・伝統が受け継がれている

文化や伝統を重んじていますか？
矢吹町が歴史ある町だと感じますか？

地域や世代を超えて町全体が交流している

町内の祭りやイベントに参加していますか？

健康づくりのために何かに取り組んでいる

健康づくりのために何かしていますか？
普段から運動をしていますか？

1. 文化・芸術の振興

高齢者の方への参加の呼びかけや、若い世代も巻き込んだ事業展開を行う必要があります。

また、有形・無形文化財や、地域の伝統芸能を後世に伝えられるよう保存活動に取り組めます。

文化・スポーツ振興事業

町文化財保護活用事業

あゆり祭事業

歴史民俗資料館整備検討事業

2. スポーツの振興

スポーツ活動により、青少年の健全育成や健康の保持増進など、多様な効果が期待されることから、関係機関等との連携を強化するとともに、分野横断的に政策を推進します。

中畑清旗争奪ソフトボール大会事業

総合型地域スポーツクラブ事業

体育協会支援事業

スポーツ少年団育成事業

市町村対抗大会支援事業

体育施設管理運営事業

みんなの声

矢吹町の歴史や文化などを町外にもアピールしたいね。

人が集まる場所・イベントなどを増やしたいね。

矢吹町にしかないイベントを大事にしていきたいね。



施策の目標

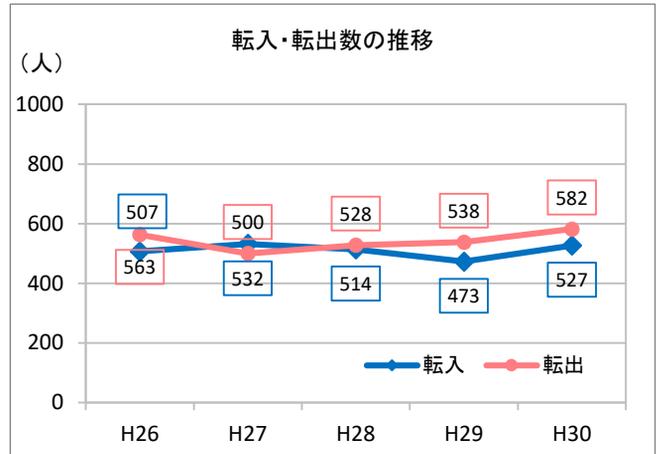
指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
町の体育施設の利用者数	17,792人	33,000人	33,000人
あゆり祭の参加者数	4,580人	6,500人	6,500人
矢吹町が歴史あるまちだと感じている人の割合	48.0%	60.0%	68.0%

1-4 交流を深め人と人が結びつくまちをつくれます

現状

1 本町では、平成14年度の共同宣言から日本三大開拓地の青森県十和田市、宮崎県川南町と子ども交流事業を行っており、また、姉妹都市である三鷹市とも交流を図っています。
転入・転出の異動数については、依然として転出超過の状態が続いています。

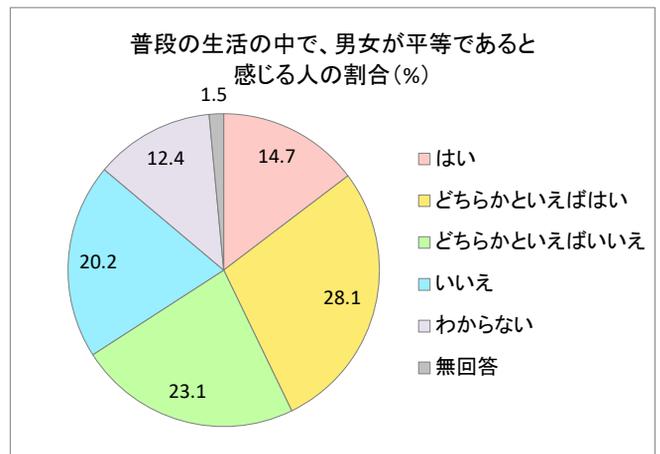
2 男女共同参画社会の実現に向け、出産後や子育て中の女性が働きやすい環境の整備が近年求められています。
また、町では「附属機関等の設置等に関する指針」を定め、各審議会や委員会等における女性の登用については、女性委員の割合が30%以上になるよう努めています。



課題

1 町外へ転出する方の異動理由を把握・分析し、移住・定住先の候補となり得るまちづくりを行うことが課題となります。
また、移住・定住者を増やすためには、町外、県外に住んでいる方に矢吹町を知ってもらうことが最初の段階となります。

2 従来の働き方を見直し、時間や場所にとらわれない多様な働き方の確保が課題となっています。

こんな町
いいな

一人ひとりの個性が尊重されている

男女が平等であると感じていますか？

世代間で交流がある

ここ1年で世代の違う人と交流を持ちましたか？

隣近所とのつきあいがある

日頃、近所の方とあいさつや話をしていますか？

1. 交流と定住の促進

人口減少、少子高齢化という社会問題を克服し、持続可能なまちづくりを実現するためには、他の政策・施策・事務事業と連携して取り組みを強化する必要があります。

日本三大開拓地交流事業

三鷹交流会事業

三鷹市姉妹・友好市町村交流事業

定住促進事業

奨学金返還支援事業

2. 男女共同参画社会の実現

男女平等な社会の実現に向け、出産、子育て等の不安や負担を軽減する取り組みを引き続き行います。

みんなの声

独身の男女の出会い、交流の場があるといいな。

みんなが笑顔になれる町にしたいな！

他地域との各種交流事業をもっと推進するべき！

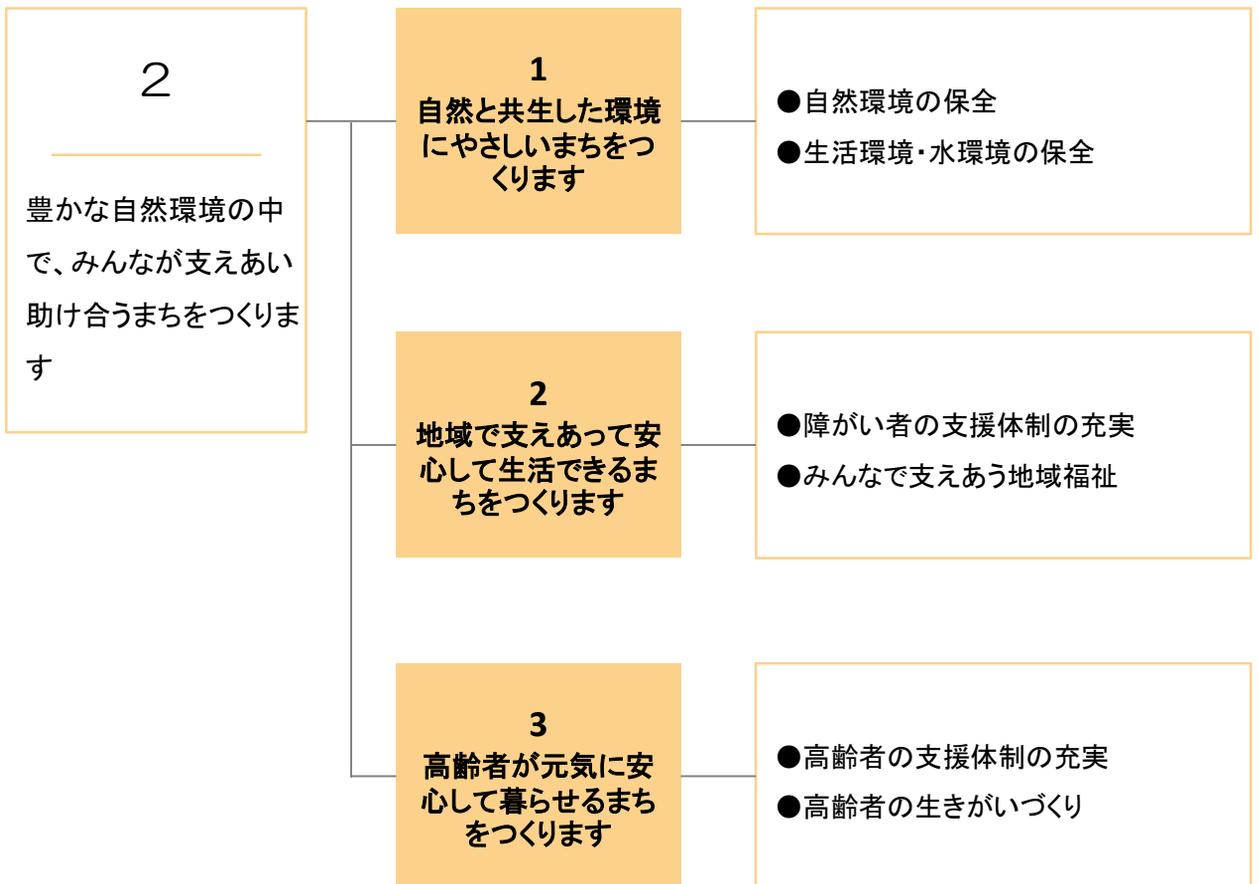


施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
転入・転出の異動数	-55人	0人	0人
男女が平等であると感じている人の割合	42.8%	55.0%	65.0%
ここ1年で世代の違う人と交流を持った人の割合	67.1%	81.0%	85.0%

支え あい

豊かな自然環境の中で、みんなが支え あい助け合うまちをつくれます





全町クリーン作戦



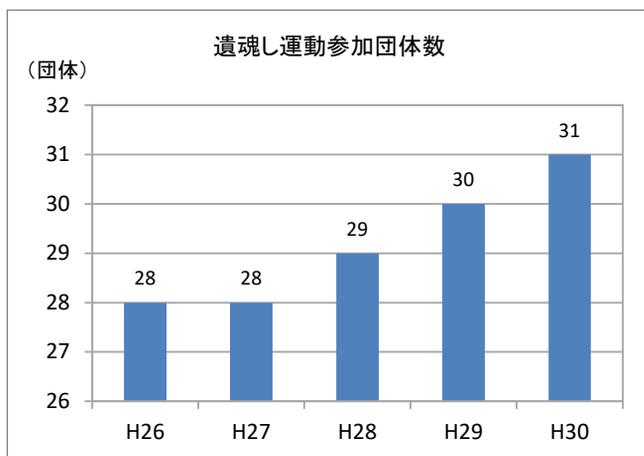
矢吹町の水がめ
堀川ダム



ひとり暮らし高齢者のつどい
「みんな元気会」

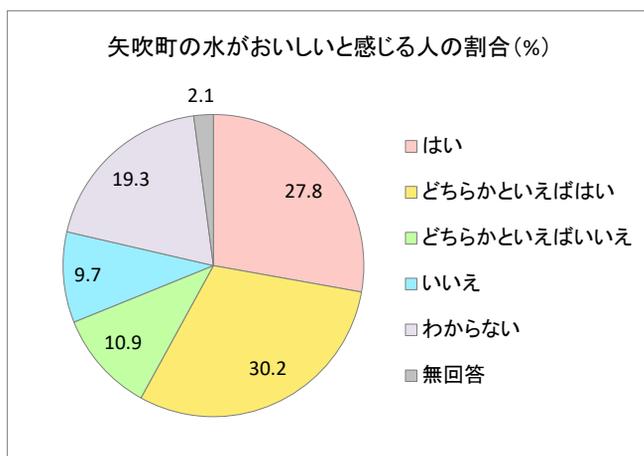
現状

- 1 遺魂し運動の参加団体(資源回収奨励金登録団体数)は年々増加しています。
環境に配慮した生活を心がけている人の割合は非常に高く、近年では2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」への関心が住民や自治体で高まっています。
- 2 上下水道施設の老朽化が進んでいますが、安心して利用できるよう適切な維持管理を行っています。



課題

- 1 町内のごみ排出量は概ね横ばいで推移しており、排出量の削減に向けた前期基本計画での取り組みを強化する必要があります。
国際的な時代の潮流と将来の社会的変化を見据え、持続可能な目標(SDGs)を推進することが自治体に求められています。
- 2 人口減少、高齢化の進展に伴い、上下水道事業の運営に係る財源確保や財政負担が課題となります。
また、自然環境については、関心が高い人と低い人で取り組みの差が生じています。



こんな町いいな

自然環境に配慮する取り組みが行われている

環境に配慮した生活を心がけていますか？

人と自然が共存している

生活する上で自然との関わりが大切だと思いますか？

1. 自然環境の保全

町内のごみ排出量については、リサイクルの推進等によるごみの削減の呼びかけを強化します。

持続可能な目標(SDGs)については、各分野の関係団体と連携・協調しながら持続可能なまちづくりを推進します。

「遺魂し運動」推進事業

自然環境保全事業

動物愛護活動事業

公害対策事業

持続可能な開発目標(SDGs)推進事業

2. 生活環境・水環境の保全

人口減少、高齢化社会を見据えた、計画的な上下水道事業の運営を行います。

また、限りある自然資源の利活用については、町民一人ひとりの意識を向上し、行動につなげる啓発活動が必要となります。

下水道普及PR事業

公共下水道整備管理運営事業

合併処理浄化槽設置事業

農業集落排水整備管理運営事業

水道施設整備管理運営事業

みんなの声

ゴミのないまちを目指そう！

開拓のまちとして、自然を大切に保ち続けたいね。



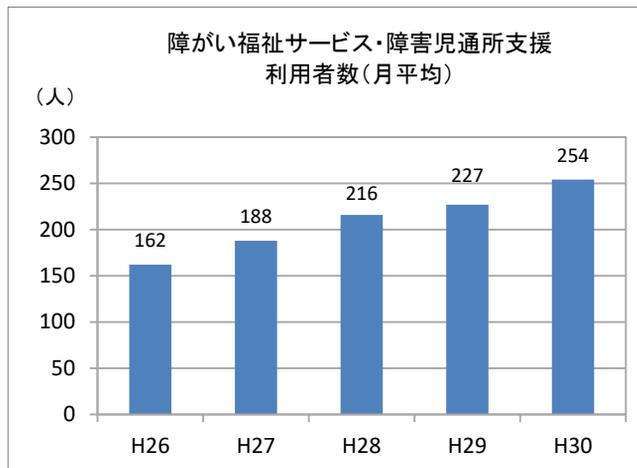
矢吹町の花や山、川などの自然は魅力があるね。

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
「遺魂し運動」参加団体数	31団体	33団体	33団体
矢吹町の水がおいしいと感じている人の割合	58.0%	65.0%	68.0%
自然環境に配慮した生活を心掛けている人の割合	89.9%	91.0%	93.0%

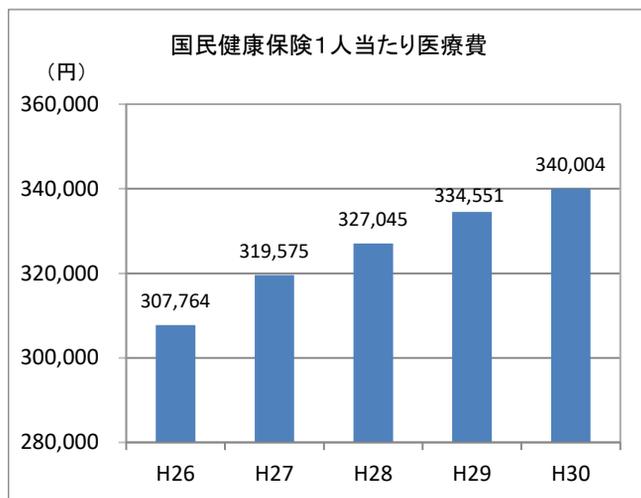
現状

- 1 矢吹町は障がい者にとってやさしい町だと思う人の割合は横ばいで推移しています。
障がい福祉サービス・障害児通所支援利用者数(月平均人数)は年々増加しています。
- 2 国民健康保険一人当たりの医療費(円)は増加傾向が見られ、平成30年度からは新国保制度がスタートしました。



課題

- 1 障がい福祉サービス・障害児通所支援利用者数が年々増加していることから、障がい者支援のニーズの高まりが予測されます。
- 2 持続可能な社会保障制度の確立や、疾病等の医療費の増加が課題となっています。



こんな町いいな

障がい者が安心して暮らせる

矢吹町は障がい者にとってやさしい町だと思いますか？

地域の中に支えあう仕組みがある

みんなが支えあうことで地域の課題を解決できると思いますか？

いつも自分の中には家族や地域がある

いつも自分の中には家族や地域があると思いますか？

1. 障がい者の支援体制の充実

障がい者が自立し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、各種サービスの提供、医療費等の支給、相談業務を安定して行うことが求められます。

障がい者自立支援事業

重度心身障がい者支援事業

2. みんなで支えあう地域福祉

町民の健康を維持し、医療費の増加を抑制するために、他の政策と連携しながら健康寿命の延伸に向けた取り組みを実施します。

国民健康保険運営事業

寄附講座支援事業

みんなの声

人生100年時代と呼ばれる中、世代を超えてお互いを支えあう社会を創っていききたいね。

高齢者や障がい者に配慮したまちづくりを進めよう！



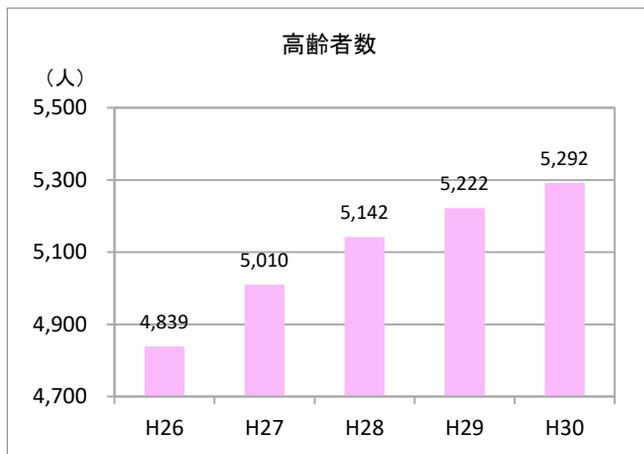
高齢社会に向けた仕組みが大切！

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
矢吹町は障がい者にとってやさしい町 だと思う人の割合	32.6%	47.0%	60.0%
近くに相談できる人がいる人の割合	76.3%	78.0%	80.0%
国民健康保険1人当たりの医療費	340,004円	292,000円	330,000円

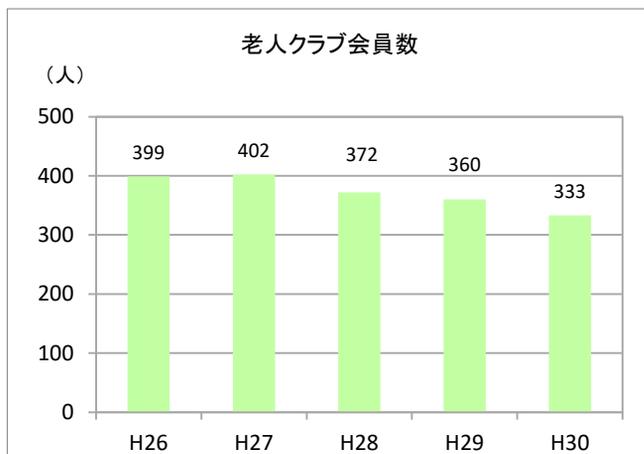
現状

- 1 全国的な傾向と同様に、高齢者数は年々増加しています。また、高齢者の増加に伴い、介護保険認定者数も増加しています。
老後に不安を感じている方の割合は微増しています。
- 2 老人クラブ会員数は年々減少しています。
ことぶき大学受講者は横ばいですが、以前と比較すると低い水準のままです。



課題

- 1 高齢者の増加に伴い、後期高齢者医療費や介護保険給付費の増加が見込まれます。
一人暮らしや高齢者のみの世帯も増加しており、新たな支援体制の構築が求められます。
- 2 高齢者が増加する一方、これらの事業の参加者は減少しているため、参加者の確保が課題です。



こんな町
いいな

生きがいをもって生活している

生きがいをもって生活していますか？

老後を不安なく暮らせる

老後に不安を感じていますか？

1. 高齢者の支援体制の充実

一人暮らしや高齢者のみの世帯について、閉じこもり防止の観点からも各種支援を引き続き行います。また、買い物や通院等の外出支援については、他の施策と連携を図りながら仕組みを構築します。

高齢者福祉サービス事業

地域包括支援センター運営事業

介護予防事業

介護保険支援事業

後期高齢者医療事業

2. 高齢者の生きがいづくり

高齢者のニーズに合わせた事業展開や、健康の維持のためにも参加の呼びかけに力を入れます。

高齢者生きがいづくり事業

元気な高齢者活動事業

みんなの声

介護に関わる人たちの交流ができれば、地域の活性化にもつながりそう！

高齢者が活躍でき、生きがいを持てる場所がほしいね。

定年後の再就職先の斡旋をしてほしい。

老人介護を充実させることが重要！



施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
生きがいを持って生活している人の割合	73.8%	76.0%	80.0%
老人クラブ会員数	333人	430人	430人
老後に不安を感じている人の割合	75.4%	60.0%	45.0%

子ども

未来の矢吹を担う子どもたちを育てるため、子育てに適した環境を提供し、子どもたちが心豊かに学び成長するまちをつくれます

3

未来の矢吹を担う子どもたちを育てるため、子育てに適した環境を提供し、子どもたちが心豊かに学び成長するまちをつくれます

1

子どもを安心して産み育てることができるまちをつくれます

- 子育て支援の充実
- 幼稚園・保育園の充実

2

教育環境が整備されたまちで次の時代を担う人を育てます

- 魅力ある教育の推進
- 教育環境・教育施設の充実
- 地域教育の推進



未来くるやぶき



田んぼの学校



4ヵ月児検診

現状

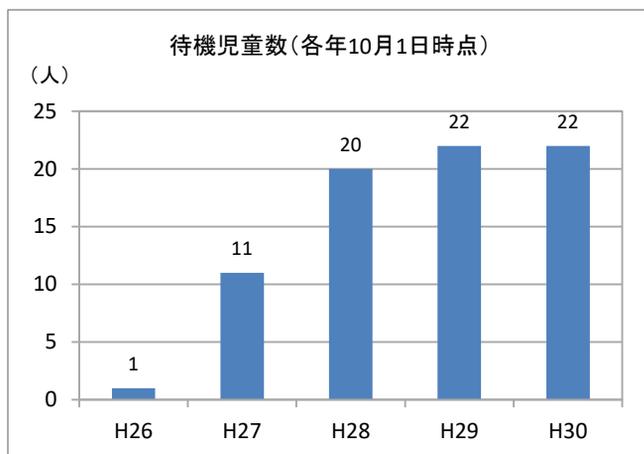
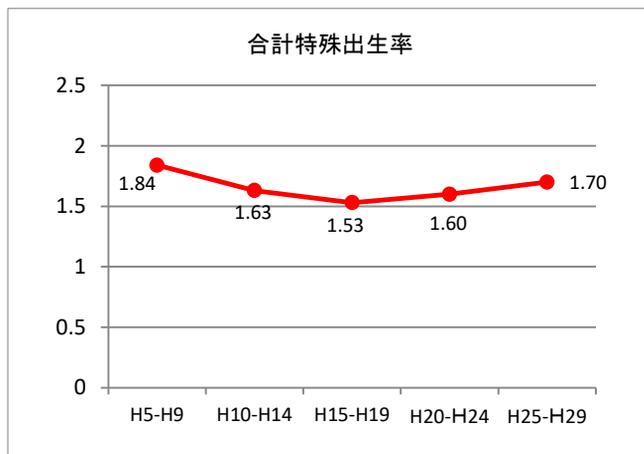
1 本町の合計特殊出生率は、近年回復傾向にありますが、保育園等の待機児童数及び放課後児童クラブの入所児童数は年々増加しています。

子どもが地域の宝であると考えている人の割合は90%を超えている一方、矢吹町は子育てしやすい町だと思っている人の割合は低下しています。

2 核家族化の進行、女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加、多様化する就労形態などに対応する柔軟な幼児教育・保育サービスが求められています。

また、幼稚園の預かり保育利用者は増加傾向にあります。

(平成30年9月:114名 令和元年9月:132名)



課題

1 合計特殊出生率は、人口を保つための水準である2.07を下回っており、人口減少の加速が懸念されます。

平成30年度に実施した町民アンケートでは、「放課後児童クラブなどの子どもを預かるサービス」については41.9%、「安全安心な遊び場の提供」については31.2%の方が充実していると回答がありました。

一方、さらに充実させるべき子育て支援策に対する質問についても「放課後児童クラブなどの子どもを預かるサービス」の回答が23.2%で最も多く、さらなるサービスの拡充が求められています。

2 令和元年10月からの幼稚園・保育園の無料化に伴い利用者の増加が見込まれるため、保育士や預かり保育支援員の確保、保育環境の整備が課題となります。

こんな町
いいな

安心して子育てができる

矢吹町は子育てしやすい町だと思いますか？

子どもたちが地域の宝となっている

子どもたちが地域の宝であると思いますか？

1. 子育て支援の充実

矢吹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンで推計した水準を超えるペースで人口減少が進行しているため、子育て世代のニーズを踏まえた事業を拡充し、出産や育児にかかる家庭の負担を軽減することで、若い世代が出産や子育てに希望を持てる地域の実現を目指します。

また、結婚から育児までの切れ目の無い支援を充実させることで、合計特殊出生率の向上を図ります。

子育て支援事業

乳幼児健康診査事業

子ども医療費助成事業

幼稚園・保育園就園奨励事業

妊婦支援事業

育児支援活動事業

放課後児童クラブ事業

要保護児童対策事業

屋内外運動場管理運営事業

矢吹っ子応援事業

子ども子育て支援基金事業

2. 幼稚園・保育園の充実

保育ニーズが高まる中、待機児童を解消するため、保育環境を整備し、子育てしやすいまちづくりを推進します。

幼稚園業務運営事業

保育園業務運営事業

幼稚園管理運営事業

幼稚園預り保育事業

幼稚園施設改修事業

みんなの声



ママが集まれる場所・サークルがあれば楽しいな！

金銭面の支援も重要だけど、子育ての相談が気軽にできる場所がほしいね。

子どもたちを遊ばせながら保護者はお茶ができるような、交流がもてる場があるといいな！

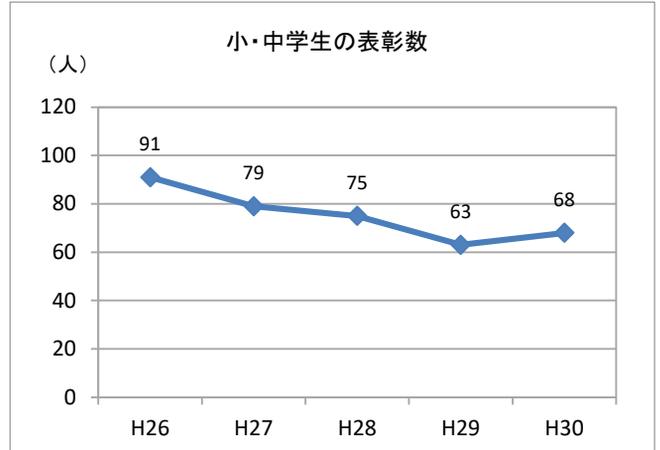
子どもを預ける施設の整備を進めてほしいね。

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
合計特殊出生率	1.7	2.1	2.1
待機児童数（10月1日時点）	22人	0人	0人
矢吹町は子育てしやすい町だと思う人の割合	41.3%	60.0%	70.0%

現状

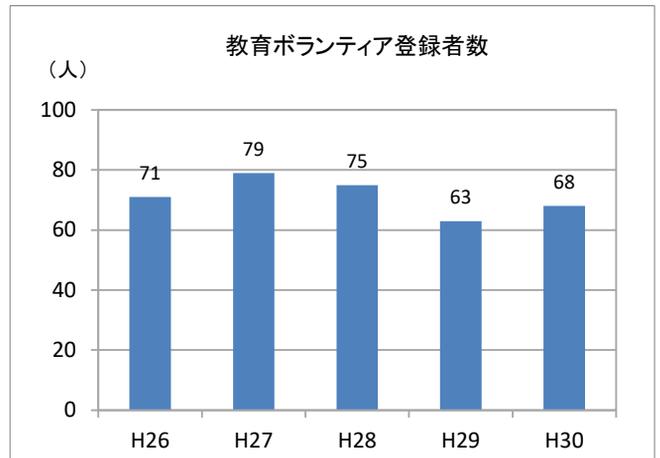
- 1 児童・生徒の表彰数は減少傾向にありますが、全国大会(体育系・文化系)出場回数は増加しています。
学校での学習活動以外に特色ある教育を実施し、豊かな心の育成に努めています。
- 2 人口減少・少子高齢化の進展に伴い、児童生徒数も年々減少しています。
また、教育施設の老朽化も進んでいます。
- 3 児童生徒数の減少に伴いボランティア登録者数も減少しています。
子どもの教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと感じている人の割合は横ばいです。



施設名	建築年度	築年数
矢吹中学校校舎	平成23年	9年
矢吹小学校 (※大規模改修完了)	昭和44年	51年
善郷小学校	昭和56年	39年
中畑小学校	昭和47年	48年
三神小学校	昭和62年	33年

課題

- 1 令和2年度から新学習指導要領に基づくカリキュラムがスタートしたため主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善、小学校での外国語教育、プログラミング教室の指導体制の充実が課題です。
また、GIGAスクール構想に基づくICTを活用した授業を実施するための環境整備が課題です。
- 2 教育施設の老朽化への対応については、人口減少・少子高齢化による影響を考慮するとともに、保護者や地域住民の同意を得ながら計画を策定しなければなりません。
- 3 少子化や核家族化、情報化等の社会変化により、地域におけるつながりが希薄化しています。



こんな町
いいな

地域と学校との間で交流がある

子どもの教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと感じていますか？

1. 魅力ある教育の推進

矢吹町学校教育施設長寿命計画に基づき、各学校の個別計画を策定し、緊急度、優先度等を勘案しながら、安全安心に利用できる教育環境を整備します。

みんなの声

勉強やスポーツなど、子どもの才能を伸ばすことができる環境づくりに着目するべき！

子ども議会開催事業

外国語指導助手活用事業

小学校教育振興運営事業

中学校教育振興運営事業

教育委員会表彰事業

学力向上対策事業

大滝清雄氏顕彰「さわやか詩集」表彰事業

コミュニティ・スクール推進事業

2. 教育環境・教育施設の充実

小学校の改修や改築に関する整備計画を検討し取り組みます。また、学校施設の長寿命化を図るため修繕計画を策定し計画的に実施します。

みんなの声

通学路や教育施設など、子どもが安心して生活できる環境を整備しよう。

児童生徒サポート推進事業

子ども安全対策事業

小学校管理運営事業

小学校施設改修事業

中学校管理運営事業

小学校施設長寿命化計画書策定事業

学校等規模適正化調査研究事業

給食施設整備事業

3. 地域教育の推進

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「コミュニティ・スクール」や関係団体等との連携を強化し、地域全体で子どもを見守ることで、安全安心な教育環境を整備します。

青少年地域活動事業

子ども会育成会支援事業

地域学校協働活動推進事業

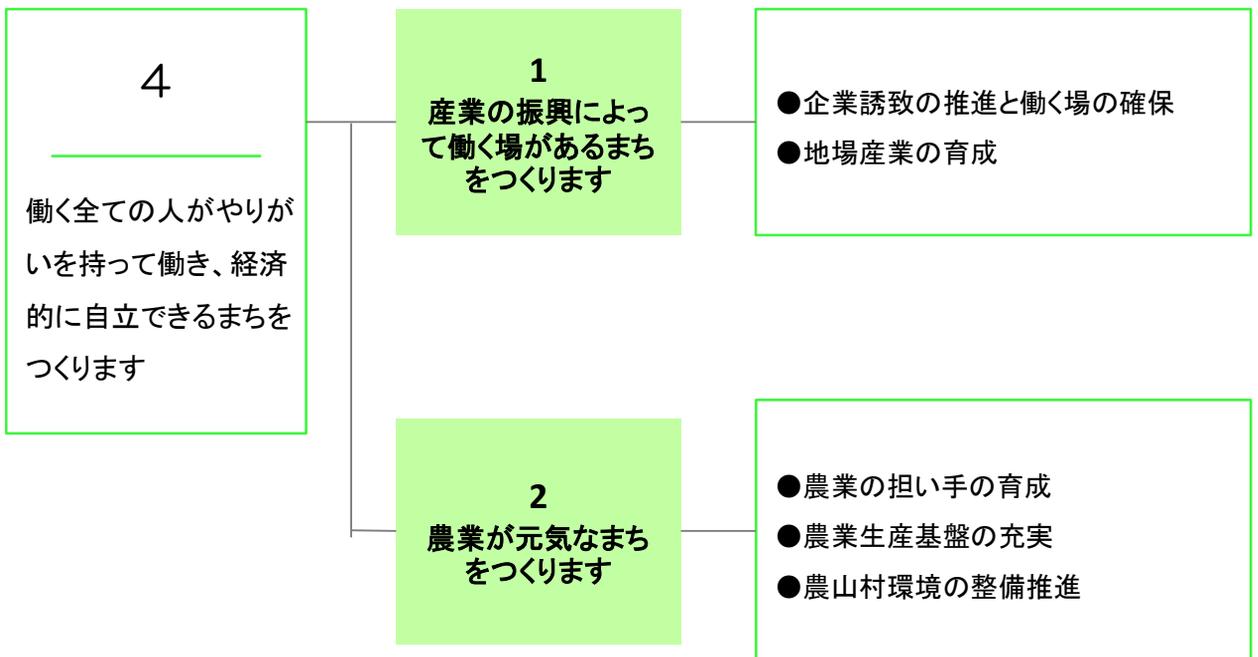
青少年サポート事業

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
教育ボランティア登録者数	68人	100人	100人
子どもの教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと感じている人の割合	40.4%	50.0%	60.0%

仕事

**働く全ての人がいがいを持って働き、
経済的に自立できるまちをつくれます**





矢吹町の田園風景



矢吹産野菜



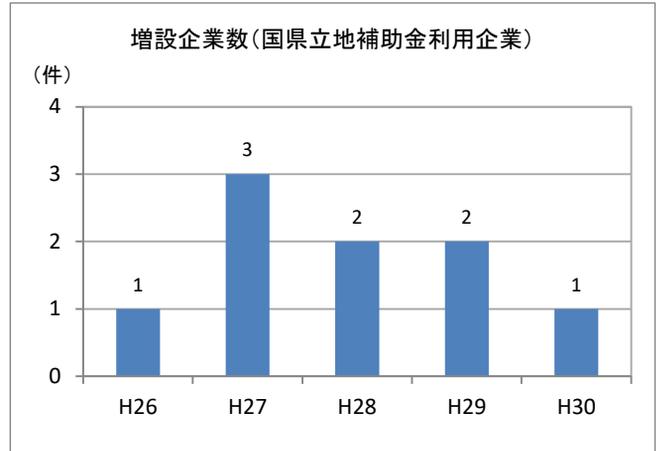
三鷹市連雀コミュニティまつり
矢吹の新鮮野菜をPR

仕事

4-1 産業の振興によって働く場があるまちをつくれます

現状

- 1 企業誘致に関し、増設企業数(国県立地補助金利用企業)は毎年1,2件となっています。
シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあります。
- 2 東京農業大学・農業短期大学校・県立光南高校・神田行政区との連携をはじめ、民間事業者や団体と連携しながら、特産物となる新商品開発や町産品全体のブランド化を進めています。
地方創生推進交付金を活用し、家庭菜園で生産される野菜等や趣味のハンドクラフト製品などが将来的には商品化できるように、プロの方を招き研究会を開催しています。



課題

- 1 新規企業の進出について、相談はあるものの進出にいたっていません。
企業の撤退は地域経済の縮小につながり、人口減少を加速する恐れがあります。
- 2 地域の優れた商品の販売や情報発信を行う場所が不足しています。
町のブランド商品については、一年を通じて販売できる商品が不足しています。



こんな町 いいな

商店街に活気がある

町内の店をよく利用していますか？

仕事にやりがいをもっている

仕事にやりがいを持っていますか？

1. 企業誘致の推進と働く場の確保

雇用の場の確保は地域経済活動の維持だけではなく、転出数の抑制につながるため、引き続き事業を展開していきます。

町民アンケートでは結婚・出産後の女性の再雇用支援を充実させるべきとの意見も多かったため、働き手を確保するための事業も検討する必要があります。

県営工業団地整備支援事業

商業活性化対策推進事業

2. 地場産業の育成

地域のブランド化を推進するためには、民間企業等の連携を強化し、地場産業の拠点整備や、ブランド商品の開発や情報発信等、ハード事業とソフト事業の両面から取り組む必要があります。

また、地場産業の後継者育成の支援を引き続き行い、地域経済の活性化を図ります。

中心市街地復興・街づくり支援事業

やぶきフロンティア祭り開催事業

地域ブランド化推進事業

矢吹産米等販路拡大推進事業

農作物等放射能測定事業

みんなの声

地域活性化のために、町の飲食店と地元の食材で名産品を開発してみては。

生産・加工・販売を一体的に進める6次化産業の取り組みを支援してほしいな。

矢吹駅周辺だけでなく、他の地域にも「賑わい」が生まれるといいな。

人口減少の対策には働く場の提供が最優先！企業誘致を積極的に行うべき。

新規事業者向けの支援を充実させよう！



施策の目標

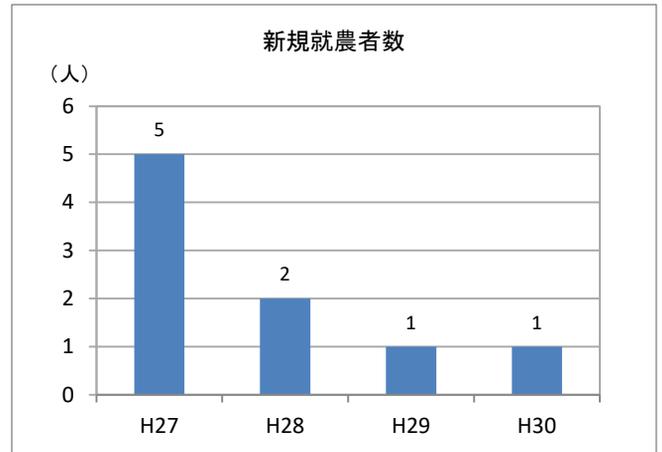
指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
シルバー人材センター会員数	165人	200人	200人
ふるさと産品数（合計）	1件	7件	7件
町内の店をよく利用する人の割合	78.1%	86.0%	90.0%

仕事

4-2 農業が元気なまちをつくれます

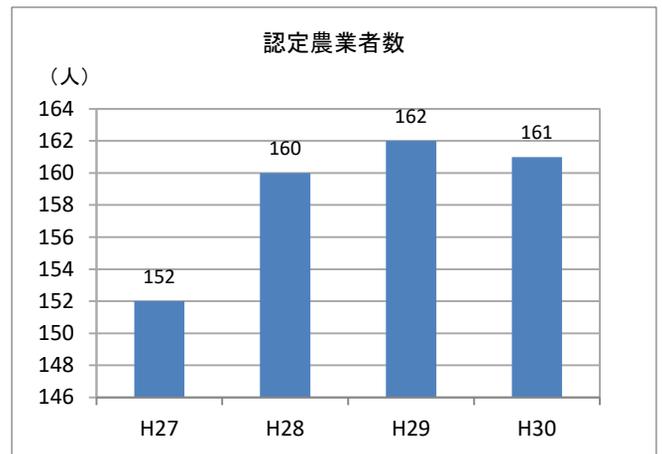
現状

- 1 新規就農者数は毎年1,2名確保できています。
認定農業者数は増加傾向にありますが、前期基本計画の目標である200人には達していません。
- 2 日頃から地元の野菜を食べている人の割合は80%以上となり、食に対する安全・安心志向の高まりが地産地消につながっていると思われます。
農地中間管理機構を活用し、農地の貸借の促進を行い、耕作放棄地の発生を防ぐ取り組みを推進しています。
- 3 水稻の収穫量は年々減少傾向にあります。
農業者が共同で行う日本型直接支払い交付金事業等により、農地の保全等を実施しています。



課題

- 1 少子高齢化、人口減少の進展に伴い、農業就業者も減少することが見込まれるため、新規就農者と認定農業者を今後どのように確保していくかが課題となります。
- 2 農業者の高齢化、後継者不足、さらには人口減少の進展により耕作放棄地の増加が懸念されます。
- 3 耕作放棄地が増加すると、農地が持つ環境保全等の多面的機能が低下し、町の景観や町民の暮らしに与える影響が懸念されます。



こんな町
いいな

町の農産物が広く販売されている

地元の地場産品をよく買っていますか？

日頃から地元の野菜を食べていますか？

1. 農業の担い手の育成

本町の基幹産業である農業の維持・発展に向け、各種支援を継続して行うとともに、魅力ある農業を創造するために関係団体等と連携して事業に取り組んでいきます。

- 集落営農推進事業
- 農業担い手育成総合支援事業
- 経営所得安定対策事業
- 有機・特別栽培農業推進事業
- 強い農業づくり推進事業

2. 農業生産基盤の充実

令和元年度に農地中間管理機構の見直しが行われ、手続きの簡素化や要件の緩和等が図られるため、関係機関との連携をさらに強化して、農地の集積を推進します。

また、台風や集中豪雨等の災害に備えるために環境整備を進め、農地や農作物に被害が発生した場合は助成を行うことで、農業経営の安定化を図ります。

- 農地中間管理機構活用事業
- 畜産振興事業
- 農業災害対策事業
- 有害鳥獣対策事業
- 水田農業構造改革対策事業
- 土地改良事業
- ため池整備事業

3. 農山村環境の整備推進

第1次の計画から続く矢吹町のアイデンティティである「さわやかな田園のまち」を後世につなぐためにも、農地中間管理機構や各種交付金等を活用し、豊かな自然環境の保全に努めます。

- 日本型直接支払交付金事業
- ふるさと水と土保全事業
- 農業振興地域整備計画策定事業
- 森林環境整備事業

みんなの声

農業の後継者があらわれるような支援がほしいね。

今の田園風景を将来にも残していきたいな。

耕作放棄地を活用して、明るいまちづくりをすすめていね。

特産品がもっとあるといいな！

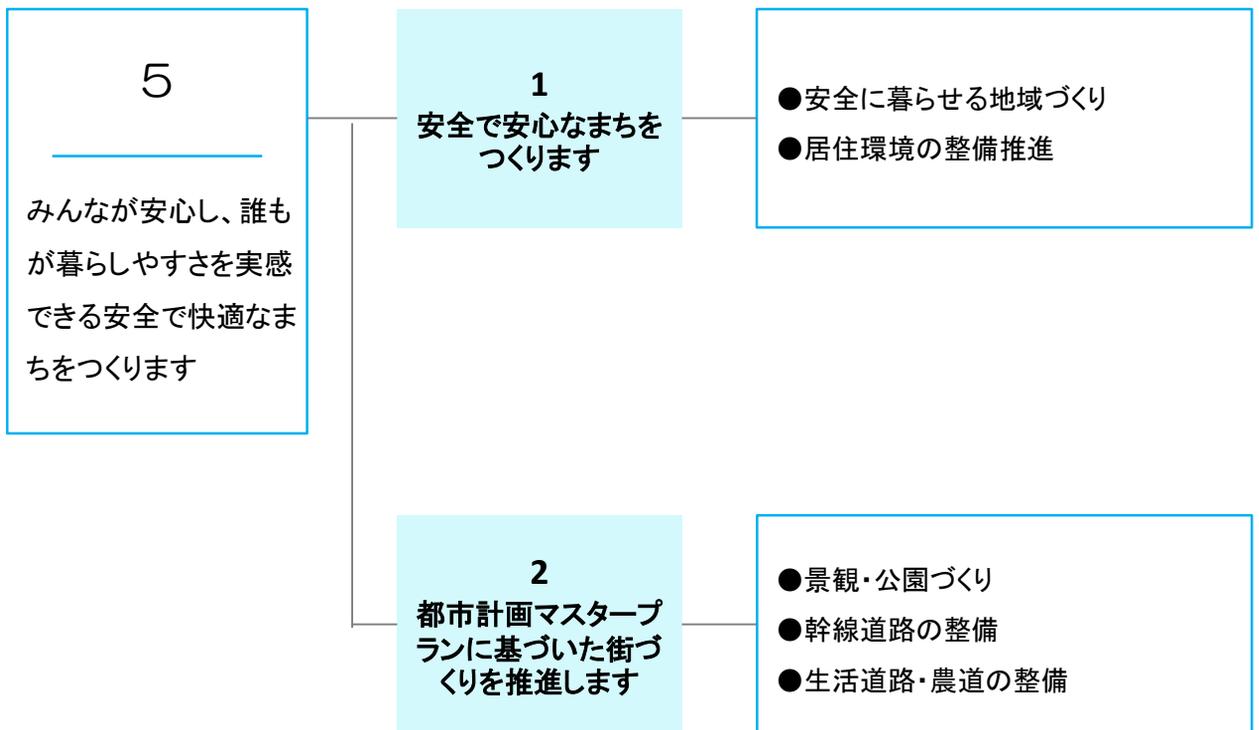


施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
新規就農者数（合計）	20人	16人	25人
認定農業者数（合計）	161人	200人	200人
日頃から地元の野菜を食べている人の割合	83.9%	85.0%	88.0%



みんなが安心し、誰もが暮らしやすさ を実感できる安全で快適なまちをつ くります

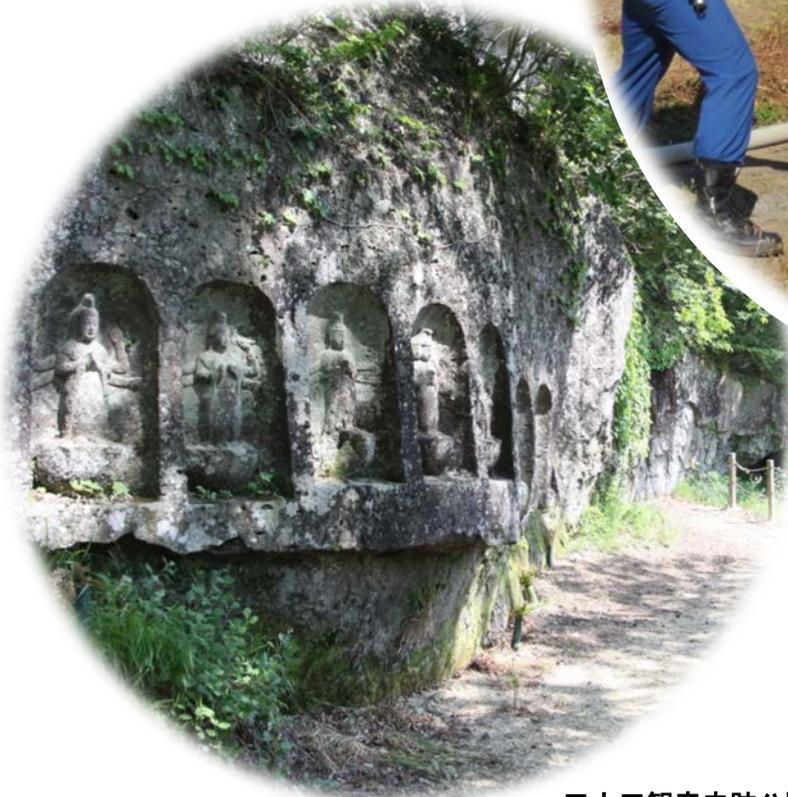




大池公園大賀ハス



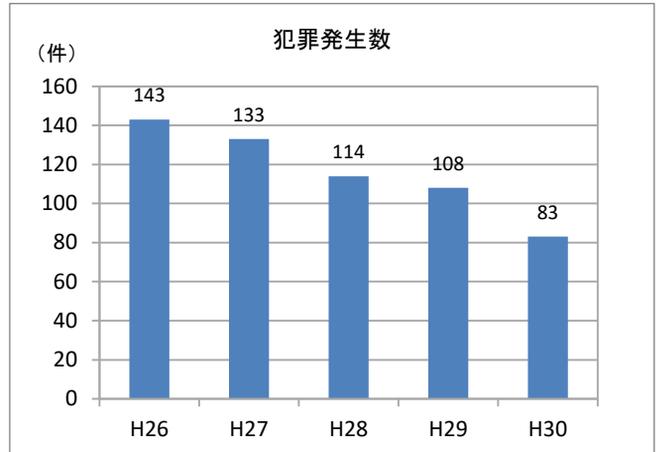
火災防御訓練



三十三観音史跡公園

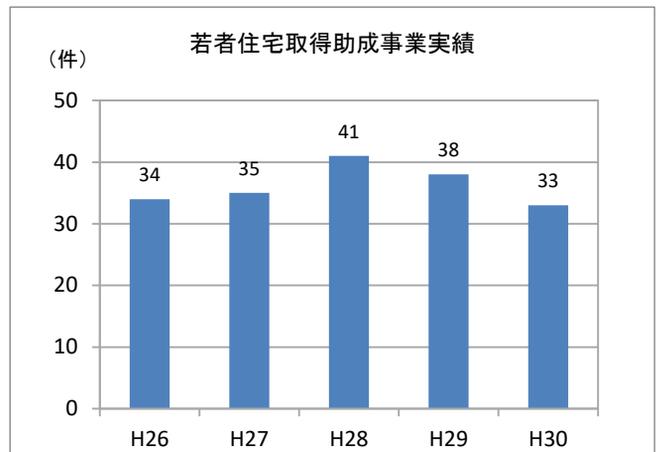
現状

- 1 犯罪発生件数は年々減少傾向にあり、平成30年度は100件を下回っています。
町が管理する全ての街路灯をLED照明へ更新する作業が完了し、夜間の交通安全の強化に努めています。
- 2 若者住宅取得助成事業の利用実績は横ばいで推移しています。
町内全域を対象とした空家調査を実施したところ、平成30年12月末時点で219棟を空家と判定しましたが、利活用可能な空家は13棟と、全体の1割にも満たないことが判明しました。
近年の台風や地震等の自然災害により、災害に強いまちづくりを求める声が多くあります。



課題

- 1 近年の台風や地震等の自然災害に備え、災害発生時に迅速な対応が出来る体制づくりが課題となります。
- 2 少子高齢化、人口減少の進展に伴い、町内の空き家はさらに増加すると予測されます。また、調査で判明した利活用が不可能な空き家については、適切な管理がなされるように対策を検討しなければなりません。



こんな町
いいな

家族と一緒にいられる

家族と会話をしたり、一緒に食事をする時間を持っていますか？

町に犯罪がない

夜間の一人歩きに不安を感じたことはありますか？

ここ1年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことはありますか？

緊急避難場所を知っている

災害時の緊急避難場所を知っていますか？

この町に住んでいる人がずっと住み続けたいと思える

自分の住む地域に愛着を持っていますか？

1. 安全に暮らせる地域づくり

高齢者の増加が見込まれることから、関係団体と協議を行い要支援者個別計画を策定するほか、災害時職員行動マニュアルを整備することで、安全で安心なまちづくりを推進します。

交通・防犯団体「新矢吹方式」運営事業

街路灯管理事業

消防団活動運営事業

消防施設整備事業

災害対応推進事業

防災行政無線管理運営事業

遊水地整備事業

2. 居住環境の整備推進

本施策によって居住環境の整備を推進することは、現在住んでいる町民のためだけではなく、移住・定住を検討している方にも効果があります。

そのため、他の人口減少対策事業との連携により、相乗効果が生まれるような事業展開を検討していきます。

河川管理事業

駅周辺管理事業

町道管理事業

法定外公共物管理事業

若者住宅取得助成事業

町営住宅管理運営事業

住宅耐震改修促進事業

定住化促進住宅管理運営事業

墓園施設整備管理事業

宅地造成事業

空き家対策事業

みんなの声

矢吹町は交通網が整っているので、これを生かしたまちづくりを推進すべき！

町内の移動手段が少ないから買い物や通院などが不便。公共交通を充実してほしいな。

空き家を若者の移住定住に活用できるといいね。



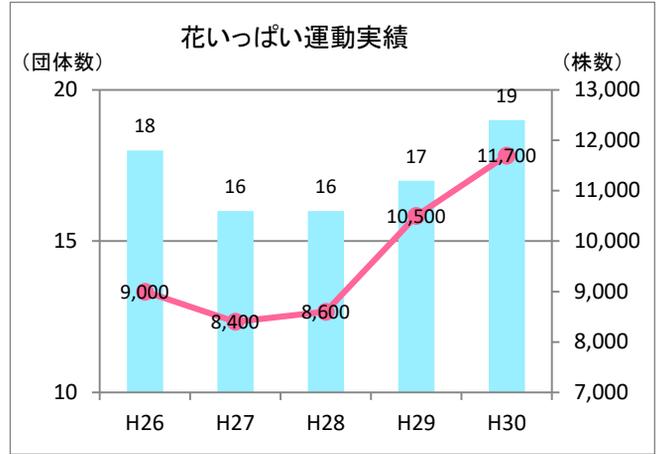
矢吹駅はきれいに保とうよ！

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
犯罪発生数	83件	100件	70件
若者住宅取得助成事業実績	33件	40件	40件
自分の住む地域に愛着を持っている人の割合	75.3%	83.0%	90.0%

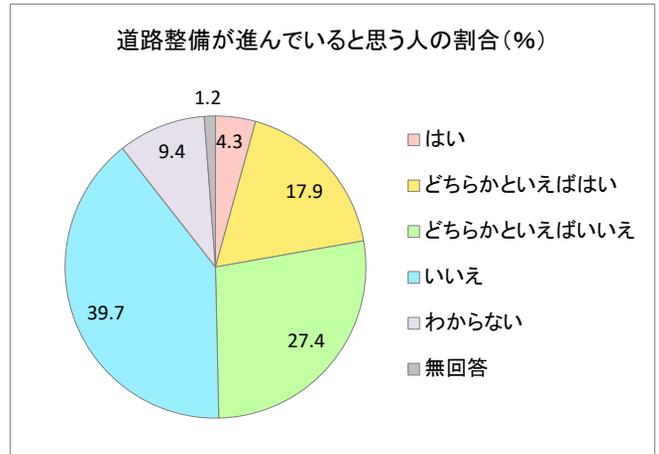
現状

- 1 花いっぱい運動の参加団体(企業、行政区等)、株数は微増しています。
東日本大震災からの復興、中心市街地の賑わい創出の拠点として整備してきた中町ポケットパークが平成30年度にオープンし、様々なイベントが開催されています。
- 2 1級町道の舗装率に増減はありませんが、2級町道の舗装率は95.0%と微増しています。
- 3 道路拡幅を伴わない簡易舗装により、生活道路の道路改良率・舗装率は増加しています。
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の維持管理を図っています。



課題

- 1 景観づくりは行政だけではなく、地域の方々の協力が必要不可欠です。
公園については、指定管理者制度により管理を行っていますが、高齢化等の理由により担い手不足が懸念されます。
- 2 幹線道路については、2級町道の舗装率のさらなる向上が課題です。
また、人口減少の進展に伴い、道路の整備・維持に係る財源を安定して確保することが課題となります。
- 3 道路の整備要望は多く寄せられており、道路の整備・維持に係る財源を安定して確保することが課題となります。



こんな町
いいな

安心して道路や報道を通行できる

- 矢吹町の道路は歩行者にとって安全ですか？
- 矢吹町の道路整備は進んでいますか？
- 矢吹町の各種施設の案内板は分かりやすいですか？

交通機関が利用しやすい

- 矢吹町内を巡回するバスがあれば利用しますか？
- 矢吹駅を利用していますか？

1. 景観・公園づくり

協働のまちづくりを実現するために、景観づくりに取り組んでいる団体等の活動を積極的に発信し、まちづくりへの参画を呼びかけます。

西側地域里山づくり事業

フラワーロード花いっぱい事業

まちなみ景観事業

公園整備事業

公園管理事業

2. 幹線道路の整備

地域住民が安全・安心に利用できるよう道路の整備、維持を引き続き行うとともに、社会経済情勢の変化を踏まえ、矢吹町都市計画道路網の整備に向けた調査、検討を行います。

主要町道道路整備事業

都市計画道路推進事業

3. 生活道路・農道の整備

要望の内容を精査しながら道路の整備優先順位を決定し、地域住民の生活環境の向上と安全確保を目的とした生活道路の整備を引き続き推進します。

生活道路整備事業

一般町道整備事業

橋梁の長寿命化事業

建築基準法みなし道路整備事業

排水路整備事業

みんなの声

交通マナーを向上させよう！

子どもたちが安全、安心に遊べる環境を守りたいね。

交通安全対策のためにも歩道・車道の整備を充実させてほしいな。



緑がいっぱいな矢吹町がいいな！

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
フラワーロード花いっぱい事業参加団体数	19団体	23団体	23団体
矢吹町の道路整備は進んでいると思う人の割合	22.2%	22.0%	25.0%
矢吹町の道路は歩行者にとって安全だと思う人の割合	22.0%	25.0%	35.0%

人口減少 対策

矢吹に受け継がれる開拓精神で、みんなが将来に希望を持てるまちづくりを推進します

6

矢吹に受け継がれる
開拓精神で、将来に
希望を持てるまちづく
りを推進します

1

将来に希望を持て
るまちづくりを推進
します

●人口減少対策プロジェクトの推進



未来くるやぶき



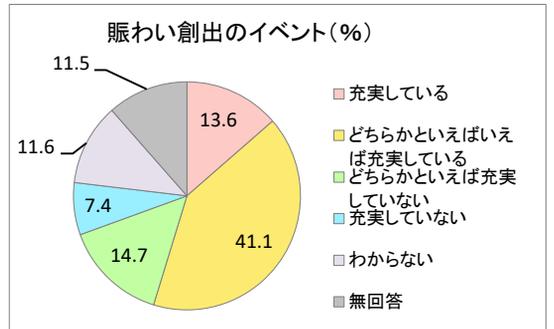
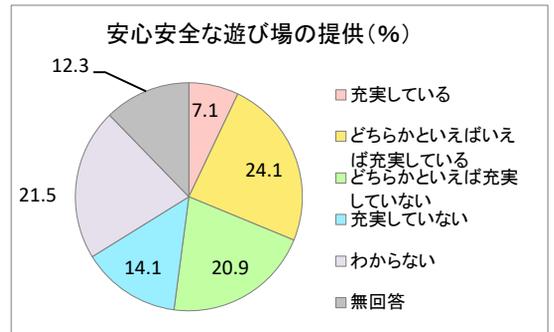
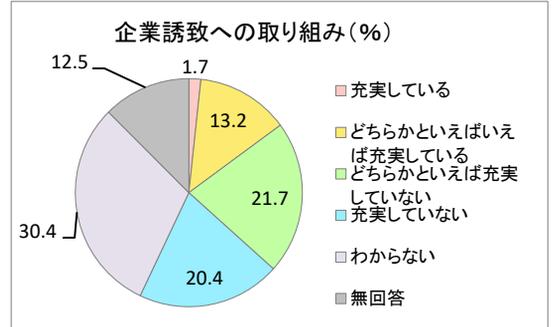
未来くるやぶきフットサルコートで
遊ぶ子どもたち

現状

- 1 平成30年度に実施した地方創生の町民アンケートによると、企業誘致の取り組みや安心安全な遊び場の提供に「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した方が少ない傾向にあります。
- 2 本町でも少子化は進行し児童数・生徒数は減少しています。平成29年度には旧総合運動公園用地利活用計画が策定され、教育施設用地を含めた方向性が示されています。
- 3 高齢化に伴い、高齢者の買い物や通院等の交通支援策である「行き活きタクシー助成事業」の需要が高まっています。

課題

- 1 本町は東北自動車道路や国道4号、主要県道が交差する交通の要衝となっていますが、地理的優位性を十分に活かしきれていない課題があります。
- 2 将来的な教育環境整備として小学校の統廃合、給食センターの整備など、子育て世代への支援拡充や定住促進を推進する必要があります。
- 3 高齢者が地域で元気に暮らしていくためには交通の確保が課題であり、買い物支援や交流など、安心で賑わいのあるまちづくりを進める必要があります。
- 4 子育てしやすい町を目指し、待機児童の解消や給食費の負担軽減など、子育て支援策のさらなる拡充に取り組む必要があります。



こんな町 いいな

市民活動や地域活動が活発である

今まで地域活動に参加したことがありますか？

町民と役場が一体となっている

町民と役場が一体であると感じていますか？

みんなが地域のために役に立ちたいと考えている

何らかの形で地域の役に立ちたいと考えていますか？

意見が町政へ反映されていると思いますか？

1. 人口減少対策プロジェクトの推進

人口減少を克服するために、若い世代が安心して就労し、希望通り結婚し、妊娠・出産・子育てができるような社会経済環境の実現を目指します。

人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、地域が直面する課題を解決し、地域の中において安全・安心で心豊かな生活が将来にわたって確保されるようにします。

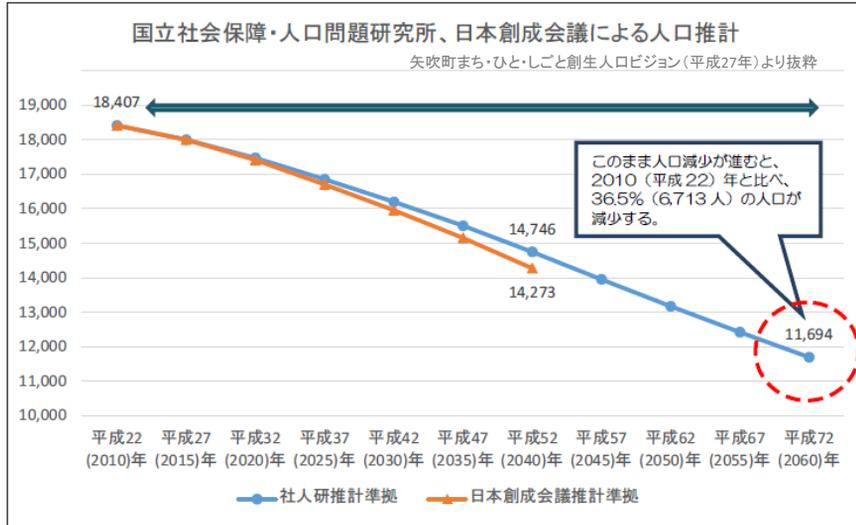
公共交通推進事業

デジタル田園タウン構想事業

企業誘致促進事業

待機児童解消加速化事業

学校給食運営事業



みんなの声

若い世代への「結婚・出産・子育て」支援が大事だよね！

新しく移住・定住してもらえるように魅力ある町にしたいわ！

恵まれた自然環境・交通網をアピールして賑わいを創出しよう！

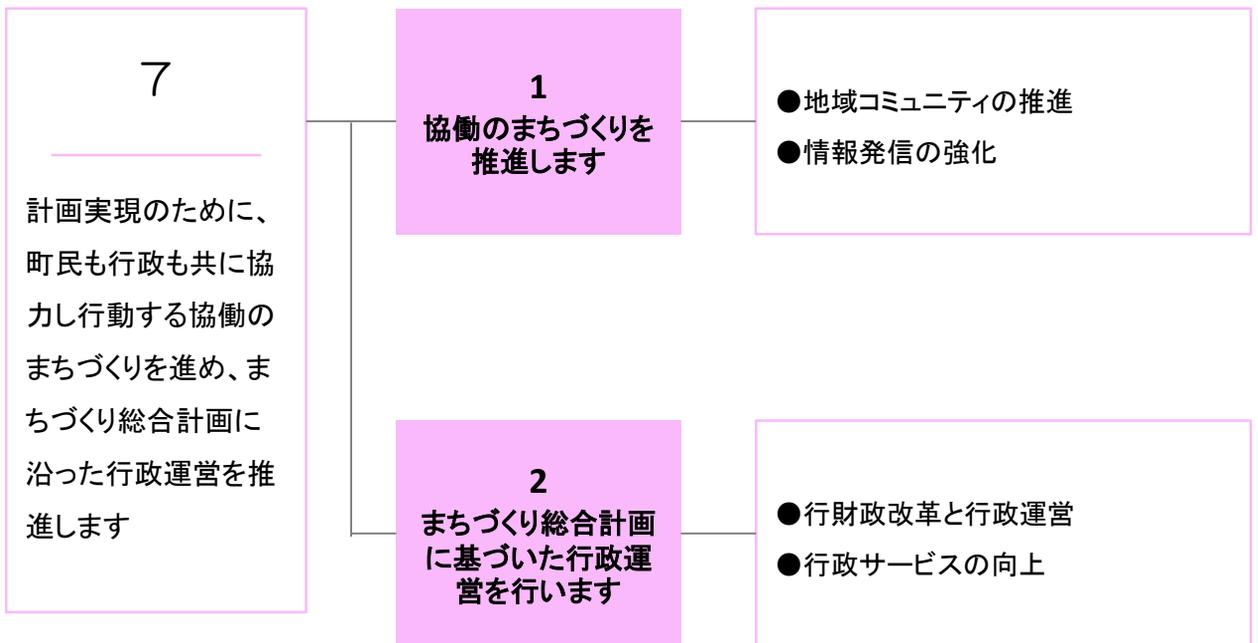
子どもたちが高校・大学を卒業しても帰ってくる町だといいな。

施策の目標

指標	平成30年度調査時	令和元年度目標値	令和5年度目標値
町民と役場が一体であると感じている人の割合	26.4%	30.0%	60.0%
何らかの形で地域の役に立ちたいと考えている人の割合	67.4%	77.0%	79.0%

計画実現 のために

計画実現のために、町民も行政も共に協力し行動する協働のまちづくりを進め、まちづくり総合計画に沿った行政運営を推進します





真夏の夜の鼓動



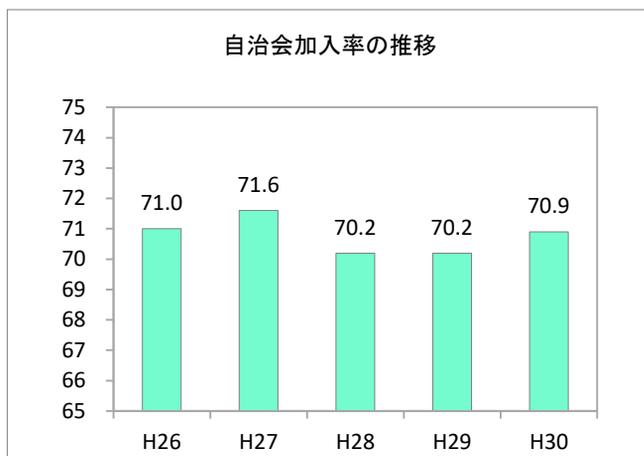
協働のまちづくり
つつじロードの植樹風景



役場窓口

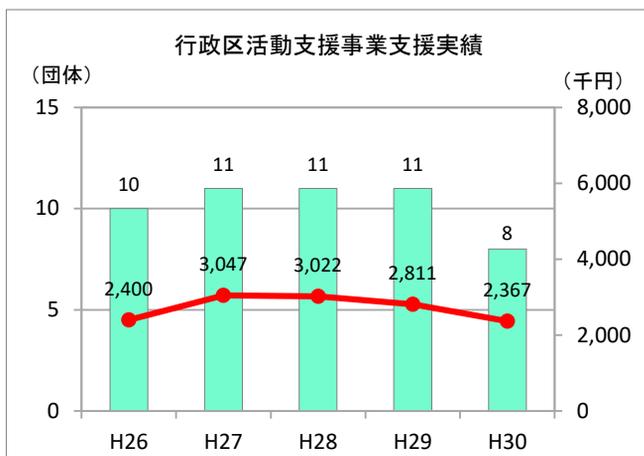
現状

- 1 町内の世帯数は増加傾向にあり、自治会加入率は横ばいで推移していますが、以前よりは低い水準のままです。
行政区活動支援事業支援実績(団体数)は近年減少し、平成30年度は8団体と少なくなっています。
- 2 普段の生活に必要な情報が伝わっていると思う人の割合は増加しています。
町民アンケートの結果、町の情報の入手方法で一番多いのは広報誌で36.6%、二番目は友人・家族で22.1%、三番目は新聞・雑誌で17.1%、四番目は町のホームページで8.2%でした。



課題

- 1 自治会活動や地域の行事等に対する無関心層を取り込む動きが必要です。
行政区活動支援事業は平成22年度から開始しており、近年は申請団体が若干減少していることから、未実施の行政区に対しての呼びかけが課題となります。
- 2 インターネットやスマートフォンの普及に伴い、様々な情報の取得が容易になった一方、知りたい情報が埋もれるリスクがあります。
情報の発信方法は多様化しており、伝えたい内容に合わせて適切な発信方法を行う必要があります。



こんな町
いいな

相談できる人がいつも近くにいる

近くに相談できる人がいますか？

必要な情報がわかりやすく伝わる

広報やぶきを読んでいますか？

普段の生活に必要な情報が伝わっていると思いますか？

町民と役場が一体となっている

町民と役場が一体であると感じていますか？

1. 地域コミュニティの推進

第6次矢吹町まちづくり総合計画の理念である「自助・共助・公助」の考え方を推進し、地域への愛着を醸成することが豊かな生活のための基礎となるため、各地域・行政区との連携を強化する取り組みを推進します。

ボランティアネットワーク事業

行政区活動支援事業

協働のまちづくり推進事業

行政区長会運営事業

地域集会所整備事業

まちづくり団体支援事業

東京やぶき会運営事業

行政区サポーター事業

2. 情報発信の強化

協働のまちづくりを推進するためには、町の将来像や政策等の基本情報を共有することが第一歩であり、不可欠です。そのため、行政と町民の連携の強化を図り、一方的な情報発信ではなく、SNS等を活用した双方向の情報発信・共有が可能となる仕組みの構築を検討します。

真夏の夜の鼓動事業

広報やぶき事業

ホームページ管理事業

ふるさと思いやり基金事業

タウンプロモーション事業

教育情報化推進事業

みんなの声



若い世代にはSNSを活用した情報発信の方が興味を引くと思うな！

住んでいる人全員が仲良しで、笑顔がいっぱいの町にしたいね。

町内のイベントはどんどん情報提供してほしい！

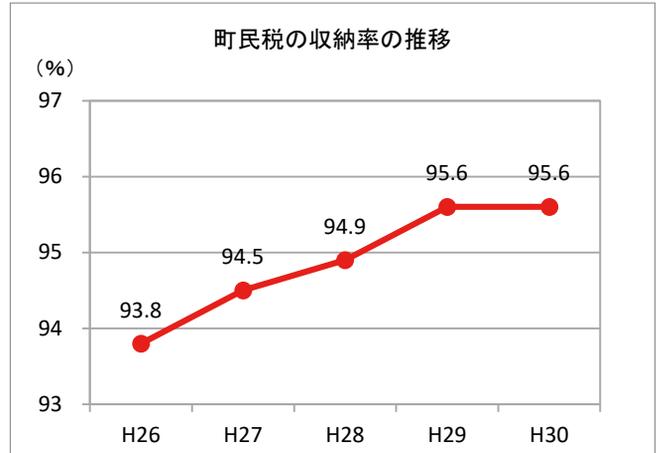
今ある地域資源を活用すれば、地域活性化につながるね！

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
自治会加入率	70.9%	73.0%	73.0%
行政区活動支援事業支援団体	8団体	25団体	25団体
普段の生活で必要な情報が伝わっていると思う人の割合	54.9%	60.0%	70.0%

現状

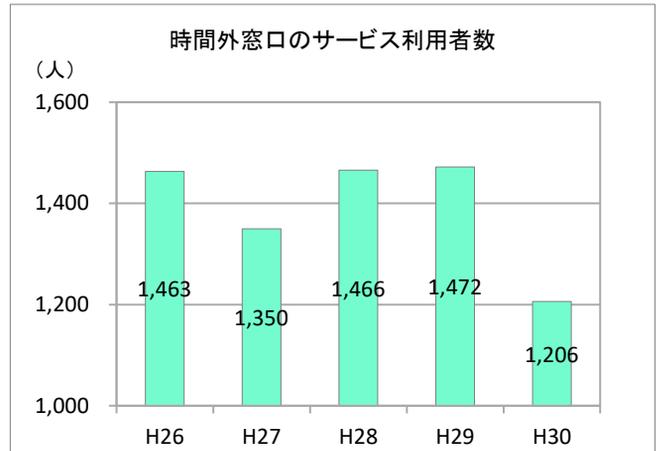
- 1 町民税の収納率は年々増加しており、前期基本計画期間の目標であった95.0%を達成しています。
また、多様な町民ニーズと職員構成の変化に対応するため、人材育成考課制度を軸とした職員の育成を行い、実効性のある人材育成に取り組むことで職員の能力と意欲の向上を図り、組織強化に取り組んでいます。
- 2 役場が業務の改善を積極的に実施していると思う人の割合は、前回よりも増加し30.2%ですが、一番多い回答は「分からない」で34.3%でした。
令和元年度10月からは総合窓口の民間委託のほか、マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付サービスを開始し、住民の利便性向上に努めています。



課題

- 1 不納欠損額が増加傾向にあり、税負担の公平性を保つために滞納整理を強化する必要があります。
令和2年4月1日に施行される地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員、臨時・非常勤職員全体の任用根拠の適正化・厳格化が求められます。

※不納欠損とは、歳入徴収額を測定したものの何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みが立たないため、地方自治体はその徴収を諦めること。
- 2 コンビニ交付サービスを利用するためにはマイナンバーカードが必要となりますが、令和2年7月1日時点のマイナンバーカードの交付率は13.0%と、全国平均の17.5%を下回っています。
町の目指すべき方向や各分野における指針を示した総合計画について、認知度は前回よりも増加していますが、低い水準のままです。



こんな町
いいな

住民サービスが維持・向上している

役場が業務の改善を積極的に実施していると思いますか？

多くの町民がまちづくり総合計画を知っている

まちづくり総合計画を知っていますか？

1. 行財政改革と行政運営

税負担の公平を保つため、未納町税等の消滅時効の管理を計画的に行うとともに、滞納処分の強化を図ります。

また、第6次矢吹町まちづくり総合計画の実現に向け、効果的かつ効率的な組織経営を引き続き目指します。

収納率向上対策事業

公用車管理事業

職員育成事業

表彰事業

定住自立圏構想推進事業

2. 行政サービスの向上

多様なニーズに対応し、全ての町民が気持ちよくサービスを受けられるよう、総合窓口を拡充することで利便性のさらなる向上を図ります。

また、第6次矢吹町まちづくり総合計画を確実に実行するため、各種情報を分かりやすく、適切な時期に発信することで行政の説明責任を果たします。

議会情報公開事業

高度情報化推進事業

窓口サービス向上事業

議会活動支援事業

庁舎管理事業

マイナンバー利活用促進事業

みんなの声

みんなで明るい矢吹町をつくっていききたいね！

各年代・世代のニーズに合わせた施策を検討し、公平に取り組んでほしいね。



まちづくりの意見を交換しながら、よりよい矢吹町にしていききたいね。

施策の目標

指標	平成30年度 調査時	令和元年度 目標値	令和5年度 目標値
町民税の収納率	95.6%	95.0%	96.0%
役場が業務の改善を積極的に実施していると思う人の割合	30.2%	50.0%	70.0%



資料出所
一覽

分野		グラフ	出典
人	1-1	特定健診受診率の推移	特定健診・特定保健指導実施結果報告
		特定保健指導実施率の推移	特定健診・特定保健指導実施結果報告
	1-2	町が実施する教室や講座に参加したことがある人の割合	こんな町いいなめざそう値
		ふるさとの森芸術村利用者数	事務報告
	1-3	あゆり祭参加者数及び来場者数	教育振興課資料
		中畑清旗争奪ソフトボール大会参加者数	教育振興課資料
	1-4	転入・転出数の推移	地域経済分析システム（RESAS）
		普段の生活の中で、男女が平等であると 感じる人の割合	こんな町いいなめざそう値
支えあい	2-1	遺だまし運動参加団体数	まちづくり推進課資料
		矢吹町の水がおいしいと感じる人の割合	こんな町いいなめざそう値
	2-2	障がい福祉サービス・障がい児通所支援 利用者数	障害者福祉計画
		国民健康保険一人当たり医療費	福島県国民健康保険事業状況
	2-3	高齢者数	福島県県勢要覧
		老人クラブ会員数	事務報告
子ども	3-1	合計特殊出生率	人口動態保健所・市町村別統計
		待機児童数	待機児童数調査
	3-2	小・中学生の表彰数	教育振興課資料
		小・中学校の築年数	公共施設等総合管理計画
		教育ボランティア登録者数	教育振興課資料
しごと	4-1	増設企業数（国県立地補助金利用企業）	産業振興課資料
	4-2	新規就農者、認定農業者数	産業振興課資料
くらし	5-1	犯罪発生数	地域安全白書
		若者住宅取得助成事業実績	事務報告
	5-2	花いっぱい運動実績	都市整備課資料
道路整備が進んでいると思う人の割合		こんな町いいなめざそう値	
人口減少対策	6-1	企業誘致への取り組み	平成30年度町民アンケート
		安全安心な遊び場の提供	平成30年度町民アンケート
		賑わい創出のイベント	平成30年度町民アンケート
計画実現の ために	7-1	自治会加入率の推移	まちづくり推進課資料
		行政区活動支援事業実績	事務報告
	7-2	町民税の収納率の推移	事務報告
		時間外窓口のサービス利用者数	事務報告